

令和3年度

事業報告書

1. 法人事業報告書
2. 施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

令和3年度

法人事業報告書

社会福祉法人 恵の園

目 次

1. 2021 年度総括報告（1 年を振り返って）	1
2. 法人役員、評議員、運営協議会委員	5
3. 理事会開催状況	6
4. 評議員会開催状況	7
5. 運営協議会開催状況	8
6. 内部監査結果	8
7. 法人借入金償還状況	8
8. 職員人事異動状況	9
9. 職員配置状況	9
10. 施設利用者状況	9
11. 補助金による助成物件	11
＜総務部＞	
(1) 庶務・経理係	12
(2) 固定資産管理係	13
＜人事部＞	
(1) 人材育成係	15
(2) 採用係	17
(3) 安全衛生委員会	18
(4) 交通安全係	19
＜その他の係＞	
(1) 防災係	19
(2) 広報係	21
(3) 地域福祉係	23
(4) 支援向上委員会	24
(5) 公益的取り組み	24

1. 令和3年度総括報告（1年を振り返って）

（1）運営全般

「より良く！」を年間スローガンとして掲げていたが、知的入所施設で、昨年10月に立て続けて2件の利用者死亡事故が発生した。「より良く」の意識を強化することができていなかった。更に、基本が疎かになっていたことも浮き彫りになった。

カナンは、予定通り4月1日に増床を開始することができたが、満床までには至らなかった。

（2）福祉ニーズへの対応の向上と利用者サービスの質と生活環境・利用環境等の向上を図る

①特別養護老人ホーム「カナン」の増床部を4月1日に開設し、利用者の安全を確保しつつ、ご家族への支援と安定した経営を目指す。

- ・1年間で41名の新入所を迎えたが、12名の方が退所となり、現在の総人数は66名。年度内満床を予定していたが、達成することはできなかった。
- ・退所者のうち2名が自宅での看取りを希望され、ご家族や関係事業所とのやり取りを密に行なった。また、高齢課や重度化に伴い、胃瘻造設や癌や肺炎などの大きな病気の発覚などがあり、ご家族との相談だけでなくご家族への支援も行なった。

②既存の福祉サービスの継続と環境の向上のために、建物や機械設備の改修等の中長期計画を完成させる。

- ・技能実習生の受入に向けた整備を検討し、7月に職員寮の内装工事を実施した。
- ・建物、機械整備の改修等の中長期計画について各施設に専用の用紙を配布して計画を作成し始めたが完成までには至らなかった。

（3）デジタル化の推進

①「2040年問題」や「デジタル変革」が進む中、「生産性の向上」（業務効率化、人材確保の一環）、と「福祉支援の質の向上」のために、積極的にデジタル化の推進を図っていく。

- ・管理者を中心にGoogleワークスペースを導入し、情報の共有を図ることができた。また、Web会議、配信等を実施したが、会議についてはネット環境の課題も有り、定着していない。「福祉支援の質の向上」や機器の導入については、検討はしたが進んでいない。

②「デジタル化推進委員会」を設置し、デジタル化に関する情報（補助金関係も含む）の収集や分析、導入試行、そして職員の意識改革等について、積極的に取り組んでいく。

- ・デジタル化推進委員会にて情報収集を行なったが、導入の試行まで至らなかった。また、現状の設備を見直し改善案を検討したが、予算や体制、意識等の課題があり変更できていない。

(4) 「予防」のさらなる取組

- ① 「予防も福祉」という視点から、従来「介護予防」の取り組みを行なってきたが、さらに広い視野で、予防的福祉の取組を展開していく。(介護予防教室、介護及び障害の予防のための啓発、貧困対策、各種海外支援など)
 - ・ 昨年に引き続き介護予防リーフレットの作成及び情報提供を行なった。身体機能維持、向上を図るだけでなく、栄養改善、口腔機能の向上等、専門職の監修のもとリーフレットを作成した。シリーズで地区へ回覧、なんでも相談室、法人内の各事業所への配布など情報提供先の拡大を図った。
 - ・ 生活困窮者のための住居改修工事等の助成金について情報収集を試みたが、助成金について群馬県、渋川市では取り組みがされていない。他法人が取り組む事業について情報収集まで至らなかった。
- ② 「地域における公益的な取組」の一環としても、進めていく。
 - ・ 恵の園として、事業の継続、広い意味での福祉を展開していくために、まずは、リボン活動について目を向けた。具体的な啓蒙、啓発、推進には至っていないが検討を進めている。
 - ・ 近隣の方から買い物を含む高齢者の移動についての情報を収集した。

(5) SDGs (エスディージーズ) の推進に取り組む

- ① 2015年9月に国際連合サミットにて採択された「SDGs (持続可能な開発目標)」を尊重し、そのSDGsの視点にも立ちながら、恵の園の福祉の振り返り、整理、さらなる推進を図っていく。
 - ・ 役職研修を行ない、恵の園の福祉の振り返りや整理を行なったが、全職員への周知には至らなかった。
- ② 具体的には、本年度は、まずSDGsについての理解を深め、社会の様々な課題の再認識を図る。また、地域社会への啓発と恵の園の「地域における公益的な取組」の整理をしつつ取組のさらなる推進をはかっていく。
 - ・ 役職研修を通してSDGsについての理解を深めることはできたが、「地域における公益的な取組」に向けた具体的な取り組みはできなかった。

(6) 組織力のさらなる強化

- ① 業務課題の遅滞の改善や、多様化・複雑化・困難化・複合化が進む地域の福祉課題に対応していくため、人材の確保(採用、定着、育成)のみならず、外部コンサルによる組織改革も進めていく。
 - ・ 外部コンサルタント(リンクアンドモチベーション)の力を借りて、サーベイ結果をもとにした事業所単位のアクションプランの作成・実行・振り返りを実施した。現時点では課題の抽出に終始してしまっているため、次年度は業務行動の促進につなげていきたい。
 - ・ 人材の定着・育成の一環として、役職者を対象とした「3分間コーチワークショップ」を企画・実施し、コミュニケーションの質を高めるための取組をした。日常の

業務の中でいかしていきたい。

- ・外国人介護人材の受入準備（受入要件の作成、職員寮規則の見直し、技能実習指導員の増員など）をすすめた。

(7) 各福祉サービスの推進

- ①「グレイスホーム」は、職員の年度途中の退職及び体調不良による長期欠勤や変則勤務が難しくなった職員への勤務調整等が複数重なり、管理職による変則勤務対応また他施設管理職の夜勤や入浴の応援なども入れながら利用者支援を行なった。
- ②「あけぼのホーム」は、貯湯槽の更新工事と食堂エアコン及び1Fデイルームのエアコンの交換工事を実施した。また新型コロナウイルスの警戒度が下がったタイミングで、利用者の皆様とご家族との面会を実施した（16家族30名）。
- ③「めぐみの里」は、10月に2件の死亡事故（不適切な身体拘束を起因とする事故、入浴介助時の見守りを怠ったことを起因とする事故）を起こしてしまった。二度と同じ事故を繰り返さないために再発防止策に取り組む。
- ④「カナン」は、毎月3～7名の新入所者を受け入れ、ショートステイは空床型を利用し7～8床の居室を使い、受け入れを行なった。3月31日現在、67名の方が入所されており、利用率は75.9%（空床型ショートステイ含む）。オンライン面会やガラス越し面会は定着し、期間限定で直接面会も行なった。
- ⑤「マイム」は、法人全体で土砂災害避難訓練を実施し、各ホームから避難先まで利用者の避難誘導を行なった。また、8月に土砂災害警戒レベル3が発令されたため、実際に避難をした。これらを通して挙げた課題について対応を進めた。
- ⑥「さつき」は、「予備力」に着目した認知症ケアを実施し、IADLの維持と日常生活のメリハリに繋がった。1月～3月は新型コロナウイルスの感染の影響を大きく受けた。隔離生活により、便秘、ADLの低下だけでなく認知症の明らかな進行が見られた。
- ⑦「ベテル」は、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、対前年比の売り上げ額が約150万円の減となったが、高額なメンテナンス等がなかったことに加え、新規作業が安定的に受注することができた結果、平均工賃は25,000円を超えることができた。
- ⑧「エステル」は、ご家族の高齢化に伴い、入所施設へ3名の利用者が移行し退所。定員を下回る利用率となりマイナス決算となった。利用者獲得のため、新規作業の導入や新商品の開発。また、パン工房マンナの週4日営業への変更や外部販売を再開したことで、就労会計は目標工賃も達成しプラスとなった。生活介護では、生産活動として野菜の苗の販売を開始した。
- ⑨「シャローム」は、欠員1名の補充ができず、コロナ禍により出席率もやや低下したこともあり施設会計は-4,427,407円であった。作業面では9月から重度者も対応可能な新規作業として昆布の選別作業を開始、新型コロナウイルスによる受注減はあったものの、生産・売上は8,429,763円と前年度比102.7%であった。しかし、資材等の高騰の影響が大きく支出は9,863,471円。当期損益は-1,433,708円となった。平均工賃は、前年度の25,378円から3,162円減額の22,216円となり、目標の25,000円を達成することができなかった。
- ⑩「ゆうかり」は、長く利用していただいた利用者が、次々と施設入所へ移行され、新規の利用者獲得が困難を極めた。結果1年の利用率が51%となり、マイナス決算となった。
- ⑪「ぶどうの木」は、渋川広域で地域課題となっている児童の計画相談について準備を進め、令和4年2月から対応を開始した。法人外の在宅利用者で、3名の方が新型コロナウイルスに感染されたが、自宅療養にて無事回復した。感染拡大することなく利

用を再開された。

- ⑫「シオンの丘」は、本年も配置職員を増加することはできなかったが、困難事例等への取り組みは実施でき、包括等との連携も深められた。しかし、請求内容に不備があり、返戻を行なった。
- ⑬「ポパイ」は、貸与事業は、サービス付き高齢者住宅等の施設からの依頼が多くあり、利用者数は3月時点で62名（昨年度末から13名増える）となったが、目標契約者数を達成できなかった。しかし、貸与・販売ともに売り上げは伸び、年間目標800万円を達成した。
- ⑭「オリーブ」は、利益は目標より減額となったが、前年度よりも増額となり、法人への繰り入れは前年度の100万円から80万円増額の180万円となった。
- ⑮福祉の啓発誌「魁」の編集・作成・発行（3回）を行ない、福祉の啓蒙を行なった。

（8）施設整備関係

主に次のような施設整備を行なった。

- ①「あけぼのホーム」は、貯湯槽更新工事（3,135,000円）、食堂エアコン（2台）と1Fデイルームエアコン（1台）の交換工事（1,390,000円）
- ②「めぐみの里」は、法人玄関自動ドア修理770,000円、めぐみの里多目的室改修工事（1,600,000円）、めぐみホール脇粗大ゴミ処分（380,000円）
- ④「シャローム」は、マイクロバス（中古）購入（2,937,000円）
- ⑤「ゆうかり」は、リネン庫棚購入（272,470円）

（9）借入金の償還

- ・グレイスホームの大型改修工事（福祉医療機構）、ダビデホーム建設（北群馬信用金庫）、クロスホーム建設（群馬銀行）、特別養護老人ホームカナン建設（群馬銀行・北群馬信用金庫）、エステル建築（群馬銀行）の各借入金は、令和3年度分の償還を予定通り行なった。

*令和2年の特別養護老人ホームカナン増床の借入金については、3年据え置きのため、利子のみ支払いを行なっている。

2. 法人役員、評議員、運営協議会委員

(1) 役員、評議員、運営協議会委員（令和3年6月15日現在）

役職	定数	氏名
理事	7	山田雅人（理事長）、池田澄子、永田智彦、柴田敏樹 内山由紀、麻田紀之、藤巻かおり
監事	2	澤口俊行、飯塚秀利
評議員	8	木村睦子、細井雅生、星名建市、井口千春、賤津進介、櫻井実 島田幸治、山崎友丈
運営協議会委員	5	川原武男、新保雄（7/12 就任）、柄澤純一郎、内海文雄、中澤悦二

(2) 就任・退任役員

①就任役員

役職名	氏名	就任年月日	備考
理事	藤巻かおり	令和3年6月15日	

②退任役員

役職名	氏名	退任年月日	備考
理事	真部 暁	令和3年3月31日	

(3) 就任運営協議会委員

①就任委員

役職名	氏名	就任年月日	備考
運営協議会委員	柄澤純一郎	令和3年4月1日	
	新保 雄	令和3年7月12日	

②退任委員

役職名	氏名	退任年月日	備考
運営協議会委員	新井 正喜	令和3年3月31日	
	永井 克俊	令和3年3月31日	

	<ul style="list-style-type: none"> ・ベテル ・エステル（就労継続支援B型、生活介護） ・シャローム ・マイーム ・ぶどうの木 ・カナン（入所、短期入所） ・さつき ・ゆうかり（指定通所介護事業、日常生活支援総合事業） ・ポパイ（指定福祉用具貸与事業、指定介護予防福祉用具貸与事業、指定特定福祉用具販売事業、指定介護予防特定福祉用具販売事業） ・シオンの丘 	
第8号議案	さつき裏の杉の件について（案）	可決
第9号議案	エステル駐車場の土地購入及び借用について（案）	可決
第10号議案	シャローム梅畑の土地購入について（案）	可決
第11号議案	令和4年度 介護職員初任者研修について（案）	可決
第12号議案	第129回評議員会開催について（案）	可決

4.評議員会開催状況

開催日	審議内容	審議結果
第128回 令和3年6月15日	第1号議案 令和2年度 会計収支決算（案） 監事監査報告	可決
	第2号議案 社会福祉充実残高について（案）	可決
	第3号議案 令和3年度 第一次収支補正予算（案） ・カナン	可決
	第4号議案 任期満了に伴う理事、監事の選任（案）	可決
	第5号議案 理事長報酬（案）	可決
	第6号議案 土地及び建物の寄贈受け入れについて（案）	可決
第129回 令和4年3月23日	第1号議案 令和3年度 第二次収支補正予算（案）	可決
	第2号議案 令和4年度 事業計画（案）	可決
	第3号議案 令和4年度 会計収支予算（案）	可決
	第4号議案 さつき裏の杉の木の件について（案）	可決
	第5号議案 エステル駐車場の土地購入及び借用について（案）	可決
	第6号議案 シャローム梅畑の土地購入に関して（案）	可決

5. 運営協議会開催状況

開催日	内容
第8回 令和3年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 <li style="padding-left: 20px;">「SDGsの取り組みについて」 <li style="padding-left: 20px;">・本年度事業計画について <li style="padding-left: 20px;">・SDGsとは <li style="padding-left: 20px;">・状況報告 <li style="padding-left: 20px;">・今後の取り組み
第9回 令和4年1月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換 <li style="padding-left: 20px;">・今までの取り組みについて <li style="padding-left: 20px;">・高齢者の孤独化、移動・買い物支援等について法人企業、地域が協力して対応できる取り組みについて

6. 内部監査結果

令和3年5月21日（金）に当法人の監事による令和2年度事業報告及び決算諸表の監査を実施した。

7. 法人借入金償還状況 ※元金のみ (単位：千円)

借入先	当初借入額	償還済額	当期減	借入残額	備考
社会福祉・医療事業団	30,000	17,440	1,570	10,990	グレイスホーム 建物改修工事借入金
北群馬信用金庫	36,800	31,500	3,600	1,700	ダビデホーム 建設借入金
群馬銀行	45,000	32,805	4,860	7,335	クロスホーム 建設借入金
群馬銀行	600,000	60,012	20,004	519,984	カナン 建設借入金
北群馬信用金庫	500,000	33,360	16,680	449,960	
北群馬信用金庫	600,000	0	0	600,000	
群馬銀行	120,000	18,180	6,060	95,760	エステル 建設借入金
計	1,931,800	193,297	52,774	1,685,729	

8.職員人事異動状況 (令和3年度中) ※正職員のみ

	採用	退職
人数	12名	13名

9.職員配置状況 (令和4年3月31日現在)

	グレイス ホーム	あけぼの ホーム	めぐみの 里	ベテル	エステル	シャローム	マイーム	ぶどうの木
正職員	10	20	24	5	6	1	1	2
契約職員	7	21	26	4	11	10	9	1
嘱託医等	1	3	1	1	1	1	0	0
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	18	44	51	10	18	12	10	3

	カナン	さつき	ゆうかり	ポパイ	シオンの丘	オリーブ	合計
正職員	26	3	5	1	1	0	105
契約職員	21	5	3	1	0	2	121
嘱託医等	3	0	0	0	0	0	11
派遣職員	0	0	0	0	0	0	0
合計	50	8	8	2	1	2	237

※兼務職員は所属施設のみに計上しています。

10.施設利用者状況 (定員及び現員及び利用率) (令和4年3月31日現在)

定員及び現員

	グレイス ホーム		あけぼの ホーム		めぐみの里		ベテル		エステル				シャローム	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	就労継続		生活介護		定員	現員
									定員	現員	定員	現員		
生活介護	30	28	50	49	80	73								
入所支援	30	28	50	49	80	73								
入所														
通所							20	27	30	29	10	11	20	19
短期入所	1		3		空床									
日中一時					若干名		1		1					
計	31	28	53	49	80	73	20	27	30	29	10	11	20	19

年間利用率 (%)

生活介護	91.1	92.4	92.8			
入所支援	91.3	92.3	92.8			
通所				104.3	82.3	94.2
短期入所	21.9	1.3	0			
日中一時			0	0	0	

	バルナバ ホーム		さくら ホーム		ダビデ ホーム		クロス ホーム		カナン		さつき		ゆうかり	
	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員	定員	現員
生活介護														
入所支援														
入所	5	5	4	4	6	6	7	7	90	66	9	9		
通所													20	27
短期入所									5					
日中一時														
計	5	5	4	4	6	6	7	7	90	66	9	9	20	

年間利用率 (%)

入所	100	100	100	100	75.9	89.3	
通所							51
短期入所							
日中一時							

	合 計	
	定員	現員
生活介護	160	150
入所支援	160	150
入所	121	97
通所	100	86
短期入所	9	
日中一時		
計	385	333

	シオンの丘
人数	40

※生活介護と入所支援の利用重複者と、日中一時の定員と現員数は合計には加算していません。

※ゆうかりの現員数は、契約者数となり、合計には含まれません。

11. 補助金による助成物件

(単位：円)

助成団体	補助対象施設	助成物件	総額	助成金額
群馬県	あけぼのホーム	グローブ 消毒液	237,000	51,000
群馬県	めぐみの里	グローブ	54,000	54,000
群馬県	エステル	ディスプレイ食器 ハンドウォッシュ	20,812	15,000
群馬県	ぶどうの木	ペーパータオル 手袋	10,560	8,000
群馬県	カナン	グローブ	132,000	80,000
群馬県	ゆうかり	グローブ	11,770	10,000
群馬県	さつき	グローブ	10,098	10,000

< 総務部 >

(1) 庶務・経理係

①概要

業務効率化や計算ミス等を防ぐため給与計算ソフトの見直しを検討。既存のソフトと比較して、有用性、互換性など詳しい内容を検討中。コロナ禍での感染予防対策として、デスクにアクリル板の設置や空気清浄機を設置した。年度当初と年末に職員が退職となり、職員体制は引き続き不安定な状態であった。

②重点目標に対する取り組み

ア 業務の整理と統一化を図る

- ・マニュアルの作成を継続する。作成担当を決め、定例会議での検討事項とし、漏れのないように進める。業務の統一化を図りルールを共有化する。

マニュアル担当者を決め、各職員に分担し作成を開始した。職員会議内では十分に検討ができないため、マニュアル検討会議を原則月1回開催し検討・確認を進めた。検討することで、個人での進め方が違っていたり、実施できていなかった点等を確認することができてきた。そのため、検討に時間がかかっている。次年度も引き続き実施。

- ・業務のICT化の推進。昨年実施できなかった他法人の見学の他、情報収集を行なう、具体的な導入を進める。

業務の一部のICT化を進めることができたが、勤怠管理等、検討は行なったが、給与の締めの問題等があり、具体的には進んでいない。また、情報収集については、コロナ禍のため見学はできなかったが、電話での確認等を進めた。

③見学者受け入れ状況

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
団体	日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
個人	日数	2	0	1	1	1	2	1	2	3	0	0	13
	人数	2	0	2	1	2	2	1	3	6	0	0	19
総合計	日数	2	0	1	1	1	2	1	2	3	0	0	13
	人数	2	0	2	1	2	2	1	3	6	0	0	19

(令和2年度 2日、14人)

④実習生受け入れ状況

区分/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	
社会人・学生 (資格取得)	日数	0	0	12	2	0	14	44	54	13	16	55	113	323
	人数	0	0	2	12	0	3	6	8	2	3	10	14	60
生徒 (施設利用)	日数	0	10	0	0	0	10	10	0	0	5	0	35	
	人数	0	3	0	0	0	2	1	0	0	1	0	7	
総合計	日数	0	10	12	2	0	24	54	54	13	21	55	113	358
	人数	0	3	2	12	0	5	7	8	2	4	10	14	67

(令和2年度 198日、27人)

(2) 固定資産管理係

①概要

利用者の安心・安全な生活を維持するために保守点検・環境整備・建物設備を計画して整備を実施した。職員全体が維持管理や財産管理を意識するために整備中長期計画の作成を各施設で進めた。

②重点目標に対する取り組み

ア 法人の建物設備を永く丁寧に使用するために管理、監督を行なう。

- ・計画した予算通りに整備を執行できなかった施設や補助金の申請が通らず断念した内容もあり、全体的に購入・整備が進まなかった。

③主に実施した施設整備

- ・貯湯槽の買い換え、食堂とダイルールの空調整備（あけぼのホーム）
- ・多目的室内の内装工事、安心見守りカメラ設置（めぐみの里）
- ・樹木伐採（シャローム）
- ・教会屋根、トイレ改修

※正門改修工事、教会屋外掲示板、看板整備等については、検討不足で実施できなかった。めぐみの里の手洗い場の整備、ベテルの車両購入については、補助金申請が通らず断念した。

月	日	実施内容	業者
4	8	簡易専用水道定期検査	県環境衛生試験センター
	15	浄化槽法第 11 条検査①	県環境検査事業団
5	12	樹木消毒	身障施設で対応
	23	作業棟裏荷物撤去（めぐみの里）	田子商会
6	2	樹木伐採（全施設対象）	勢多造園
	6	キュービクル検査（めぐみの里）	関東電気保安協会
	7	浄化槽清掃（グレイスホーム、バルナバホーム、若杉寮）	渋川衛生社
	8	キュービクル塗装（めぐみの里）	関東電気保安協会
	11	貯湯槽交換工事（あけぼのホーム）	藤田エンジニアリング
	23	防火設備調査（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里、カナン）	建築工房アキモト
	29	建物設備調査（あけぼのホーム、めぐみの里、カナン）	建築工房アキモト
	30	館内空調設備交換（あけぼのホーム）	岳電工
7	14	電気メーター交換（さつき）	東京電力
	20	若杉寮 203 号室内装工事	岡本建具店
8	4	浄化槽清掃（MGM、ベテル）	渋川衛生社
	5	浄化槽ポンプ交換工事（さつき）	渋川衛生社
	25	スプリンクラー点検	環境技研
		※地下重油タンク目視点検	乙四資格保持者

9	1	浄化槽清掃（クロスホーム）	渋川衛生社
9	22	教会屋根修理、トイレ改修工事	津久井工務店
10	4	正門横の水道管水漏れ修理 浄化槽 11 条検査（エステル）	藤田エンジニアリング 環境検査事業団
	7	職員研修所浴室ファンコイル交換	萩原興業
	15	ND ソフトサーバー移行	コーワパートナーズ
11	9	職員研修所 2 階ファンコイル交換	萩原興業
	11	ボイラー缶体洗浄（ベテル、あけぼのホーム）	藤田テクノ
	14	多目的室内装工事（めぐみの里）	インテリアおおた
	15	浄化槽汚泥引抜（あけぼのホーム）	渋川衛生社
	25	浄化槽 11 条検査②	渋川衛生社
12	8	浄化槽清掃（グレイスホーム）	渋川衛生社
	14	浄化槽ブローア－交換（さつき）	渋川衛生社
1	9	旧ベテル 1 号棟の水道管破裂	萩原興業
	17	シャローム樹木伐採	勢多造園
	20	敷地内階段転倒防止の看板設置	円建工
2	4	浄化槽清掃（MGM、ベテル）	渋川衛生社
3	4	浄化槽 11 条検査（あけぼのホーム）	渋川衛生社
	14	浄化槽清掃（ダビデホーム）	渋川衛生社
	18	汚泥引抜（めぐみの里、カナン）	関東清掃社
	20	受水槽清掃（カナン、めぐみの里、身障施設）	日化メンテナンス
	23	館内安心見守りカメラ設置（めぐみの里）	コーワパートナーズ

※浄化槽定期点検・定期清掃は、法令に則り実施。

※浄化槽法第 11 条検査（年 1 回・県環境検査事業団）は、3 回に分けて実施。

①グレイスホーム、めぐみの里、カナン、シャローム

②教会、ベテル、旧ベテル会議室、さつき

クロスホーム、ダビデホーム、バルナバホーム、職員研修所、若杉寮、MGM、地域交流ホーム

※簡易専用水道定期検査は、身障施設（25 トン）めぐみの里（24 トン、6 トン）、カナン（35 トン）の 3 箇所を実施。

※身障施設・めぐみの里・カナンのキュービクルは、奇数月に定期検査を実施（関東電気保安協会）

<人事部>

(1) 人材育成係

①概要

組織力を強化するための取組の一環として、役職者を対象にコミュニケーション研修（コーチ・エイ：3分間コーチワークショップ）を企画・実施した。

また、外部コンサル（リンクアンドモチベーション）を活用し、業務行動を振り返る機会を意図的に設けた。

②重点目標に対する取り組み

ア 職員の「自己教育」を推進するための仕組みづくりを構築する。

- ・「人材育成体系」に着手をしたが完成には至っていない。「職免制度の見直し」や「恵の園図書館（伊藤文庫）の整理」などの課題には、担当者の怠慢により着手ができていない。

③実施研修

ア 法人内研修

- ・山田理事長による研修

月	日	内 容
4	19	「デジタル力の促進に向けて Part2」

- ・管理職研修会（創立者：山田後援会長による）

月	日	内 容
5	17	コロナ禍のため中止
8	16	コロナ禍のため中止
11	19	「管理者の立場と役割」
2	21	コロナ禍のため中止

- ・指導職研修会（創立者：山田後援会長による）

月	日	内 容
6	21	コロナ禍のため中止
9	21	コロナ禍のため中止
12	17	コロナ禍のため中止
3	23	コロナ禍のため中止

- ・一般職研修会（創立者：山田後援会長による）

月	日	内 容
7	16	「報連相の習慣化」 ※役職者も参加
10	18	「福祉には『心』が大事です」 ※役職者も参加
1	17	コロナ禍のため中止

・指導職研修

月	日	内 容	講 師
5	7	新任指導職研修 「新任チーフに伝えたいこと」 ～大切にしてほしいこと～	山田理事長（対象者：2名）
10	1	新任指導職研修 「Do-CAP 面談について」	近藤施設長（対象者：2名）

・全体研修会、テーマ別研修会

月	日	内 容	講 師
11	1	感染症対策 「秋から冬にかけて流行する感染症」 ～恵の園で行なえる予防と対策～	産業医 井口医師

・現任研修会

各施設にて年間 11 回実施

4 月には全施設で虐待防止に関連する研修を実施

・役職研修会（理事長、施設長、副施設長、チーフ：計 39 名参加）

月	日	内 容	講 師
10	22	3 分間コーチワークショップ	コーチ・エイ
1	18		

・中堅職員研修、リーダーズアカデミー：企画せず

・令和 2 年度 中途採用職員の新任職員研修

月	日	内 容	講 師
11	3	フォローアップ研修（1 年）	人材育成係

・令和 3 年度 新任職員研修

月	日	内 容	講 師
4	1,2,4,5,	新任職員研修	山田理事長、各施設長他
	19	新任職員研修	山田後援会長
7	5	フォローアップ研修①	人材育成係
3	10	フォローアップ研修②	人材育成係

・令和 3 年度 中途採用の新任職員研修

月	日	内 容	講 師
11	12,15,16,17	新任職員研修	山田理事長、各施設長他
3	10	フォローアップ研修②	人材育成係

イ 法人外研修

- ・施設毎に種別団体の研修、群馬県社会福祉協議会、経営青年会、労働局（改正女性活躍推進法等）、強度行動障害、ぐんま DWAT などの研修に参加。
- ・コーチング（コーチ・エイの DCD）：実施せず。

ウ 見学研修

- ・コロナ禍のため、積極的な施設見学は行なわなかった。

エ 自己啓発の推進

- ・職務免除制度の検討に着手したが、完成には至らなかった。

オ 専門医等による研修

- ・産業医による感染症に関する研修（全体研修）を実施した。
- ・zoom 等を活用し、新型コロナウイルス感染症に対する予防策などの研修を受講した。

カ 赤城教育セミナー開催準備

- ・検討できていない。

キ リンクアンドモチベーション

- ・2回のサーベイを実施した。（第2回 5/17～5/28、第3回 11/30～12/6）
- ・サーベイ結果をもとに各施設でアクションプランを作成し、組織単位の振り返りを1ヶ月単位で実施している。
- ・先方とは定期的にオンラインによる打ち合わせを実施し、助言を受けている。

(2) 採用係

①概要

引き続きカナン増床に向けた職員の確保を中心に採用活動を行なった。他施設（特に入所施設）の職員不足もあり、ハローワーク等の就職説明会に参加したが、コロナ禍によるイベントの中止も多かった。再度報奨金支給制度を行ない、4名の職員が確保できた。今後も人材確保に向けた取り組み（特に夜勤のできる職員確保）は継続していく必要がある。

②重点目標に対する取り組み

ア 人材の確保と定着

- ・9月に上毛新聞の求人広告掲載「上毛新聞社主催介護と福祉おしごと就職相談会」に参加し、1名の採用に繋がった。
- ・11月と3月にハローワーク渋川の就職説明会に参加し5名の面接を行ない、その他学生向けにオンラインで説明会を実施したが、いずれも採用に繋げることはできなかった。
- ・インドネシア人の介護人材（特定技能）と面談をし、令和4年度に2名の受け入れ予定となった。
- ・今年度55名と面談を実施し、20名の採用に繋がった（正職8名、契約職12名）。
- ・報奨金制度は、一定の成果が認められるので今後も継続したい。
- ・リクナビ2023新卒採用のWebを活用し、現在までエントリー8名、今後の採用に繋げていきたい。

(3) 安全衛生委員会

①概要

職員の「労働災害」「労働疾病」の予防を図り、安全で快適な職場づくりに取り組んだが、8件の労災事故が発生してしまった。(昨年度4件)

②重点目標に対する取り組み

ア 「感染症予防」に力を入れる。

- ・昨年度作成した「コロナBCP」の内容をバージョンアップし、各施設での予防対策を進めた。ワクチン接種、抗原検査の計画を作成し対応を実施した。一部施設でコロナの感染者が発生したが拡大には至らなかった。

イ 「エイジフレンドリーな職場づくり」をすすめる。

- ・エイジフレンドリーな職場づくりを検討し、各施設で腰痛予防体操を実施。健康診断で腰痛検査の項目を追加。補助金制度の活用は対象外のため見送った。園内に転落・転倒防止の看板を設置した。

③年間報告

月	日	内 容
7	16,20	深夜業従事者の健康診断（三愛クリニック）
10	14～21	ストレスチェック（マインメンタルヘルス研究所）
11	1	井口産業医による全体研修「感染症予防について」
1	25,28	35歳未満職員（週30時間以上）の健康診断（三愛クリニック）

④労働災害

発生日	施 設	内 容
6月27日	カナン	利用者の介助中に体制を崩し痛みが発生（腰椎捻挫）
6月28日	エステル	重い荷物を持ち上げた時に痛みが発生（腰痛捻挫）
7月6日	カナン	利用者の介助中に転倒（第五腰椎圧迫骨折）
7月12日	めぐみの里	浴室にて利用者を介助した時に痛みが発生（腰痛捻挫）
10月9日	めぐみの里	日用品補充の時につまずき転倒（両膝打撲）
10月14日	めぐみの里	利用者のトイレ介助中に痛みが発生（右膝・足捻挫）
1月31日	めぐみの里	利用者を追いかけた時に坂道でつまずき転倒 （右上腕骨大結節骨折）
3月8日	めぐみの里	段ボール倉庫前で転倒（右足捻挫、左手5針裂傷）

(4) 交通安全係

①概要

運転適性検査を実施した。安全運転、事故防止のためポスターやチラシの掲示や配布をした。朝礼等で交通安全週間や交通事故予防の呼びかけは例年通り実施した。

②重点目標に対する取り組み

ア 安全運転、点検整備マニュアル完成を目指す

- ・着手できていない。交通安全協会や国土交通省の所管法人などに問い合わせる等しながら完成を目指す。

イ 交通安全講習等を行ない、職員の交通安全意識を高めていく

- ・運転適性検査を実施したが、結果を活用することができなかった。安全運転、事故防止のためポスターやチラシの掲示や配布。朝礼等で交通安全週間や交通事故予防の呼びかけは例年通り実施した。

③業務計画

ア 保険会社と連携し交通安全講習会を実施する。

- ・着手していない。職員を集めて実施する講習会は、感染症等の理由によって開催が難しい。文書か動画での回覧をし、交通安全への意識を高められるように検討する。

イ 各施設で会議や現任研修で交通安全講習ができるよう資料の提供を行なう。

- ・同上

ウ 洗車、工具類の点検を定期的実施する。

- ・チーフ会議等で各施設への呼びかけを行なった。

エ ホイールローダー講習の受講を計画的に進める。

- ・今年度はコロナ禍により、講習を受けることを危険と判断した。次年度も状況を確認しながら、受講を計画する。

<その他の係>

(1) 防災・防犯係

①概要

策定した防災BCPに基づき、土砂災害警戒レベル3が発令された際の避難訓練を実施した。

大規模災害を想定した対応の検討を開始した。(県モデルBCP策定検討会のⅡ期メンバー)

②重点目標に対する取り組み

ア 防災面：り実効性のある防災BCPを策定し、有事に備える。

- ・大雨警報（警戒レベル3）を想定したオクレンジャー一斉配信メール、マイーム一斉避難訓練、通所施設安否確認訓練を6月に実施した。
- ・ダビデホーム利用者の避難先をカナンとし、カナンに簡易ベッド5台を購入した。
- ・明保野地区防災倉庫の保管物品を確認したが、地区防災の会議がコロナ禍のため開催できず必要な物品の検討及び購入ができなかった。
充実化を図り、有事に備える。（ブルーシート、スコップなどの一括保管）
- ・いままで訓練をしていなかった庶務経理と厨房に対して、具体的な訓練をするための情報提供ができず、進められなかった。

イ 防犯面：社会福祉法人として、地域の防犯対策を行なう。

- ・防犯活動として車輛にステッカーを貼ることを検討したが、他で同じようにステッカーを使った取り組みがあり、再検討することとした。
- ・防犯マニュアルの内容の検討をチーフ会議と防災・防犯係の会議で行なった。

③年間の取り組み事項

	内 容
4月	緊急連絡網の更新 消防署での旧ベテル1号棟の用途変更を行なった
5月	消防設備定期点検（共和消防設備：11,12,14,17,20日）
6月	土砂災害避難訓練に県社協1名、経営青年会1名来園。訓練の見学とアドバイスを頂く。
7月	身障施設に備蓄食用倉庫を設置（フジ産業） ※10/7に備蓄食移動 警戒区域一覧図（受信機表示図）の作成と掲示
8月	重油タンク目視点検（グレイスホーム、あけぼのホーム、めぐみの里） スプリンクラー点検（正栄技研：24,25,26日）
9月	恵の園の建物名称を消防署と統一した 非常灯非点灯箇所交換（1～2日）共和消防設備） 危険物取扱者保安講習（30日：平石麻）
11月	消防設備点検（共和消防設備：15,18,19,22日）
2月	防火対象物点検（共和消防設備：1～2日） スプリンクラー点検（正栄技研：24～25日）

※群馬DWA Tに新たに1名登録した（法人全体で5名登録）

④防災訓練実施結果および各施設の取り組み事項

	訓練内容	日程（※印は施設ごとの取り組み事項）
グレイスホーム	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	7月29日（消防書立ち会い） 2月22日（消防書立ち会い） 3月25日 ※擁壁側居室の吐き出しドアにスロープを設置。

あけぼのホーム	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	5月18日 11月16日 2月28日
めぐみの里	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	1月27日（全体訓練） 8月26日 3月18日 ※地震想定避難訓練で二次災害防止動作を訓練内容に追加して実施。
マイーム	土砂災害避難訓練 火災想定訓練	6月3日（全体訓練） 実施せず
ベテル	火災想定訓練（日中） 〃（2回目） 地震想定訓練	9月30日 3月17日 実施せず ※定期的にコンセント部分の確認を実施。
エステル	火災想定訓練（日中） 〃（2回目） 地震想定訓練	8月23日（消防書立ち会い） 3月14日 実施せず ※火災表示板で場所を確認してから火元を特定させる訓練を実施。
シャローム	火災想定訓練（日中） 風水害想定訓練 地震想定訓練	3月31日 3月23日 実施せず
カナン	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	11月10日 実施せず 実施せず
ゆうかり	火災想定訓練（日中） 地震想定訓練	11月10日 実施せず
さつき	火災想定訓練（日中） 火災想定訓練（夜間） 地震想定訓練	6月23日 実施せず 2月2日

※自主点検は偶数月に実施

※コロナ禍により、消防署の立ち合いは年3回のみ（7/29、8/23、2/22）

※明保野地区の防災会議、ソフトボール大会、合同防災訓練もコロナ禍で中止

（2） 広報係

①概要

一粒の麦を9月（夏号）、12月（秋号）を発行。また、新年号を2月発行したが、発送の準備が整わず、4月の発送となってしまった。印刷班との構成手順を変更し、一部順調に進むようになったが、担当者や印刷班との調整で課題が残った。ホームページ関係では、コロナ禍の影響も有り、各施設の更新が思うように進まなかった。しかし、インスタグラム等のSNSの活用により情報発信の幅は広がった。

②重点目標に対する取り組み

ア 広報機能の強化

- ・印刷班との校正手順を変更したことにより、上申から発注までの手順は順調になったが、担当者の原稿取りまとめや印刷班との調整に時間を要した。

イ ホームページや各施設パンフレットのリニューアルを図る。

- ・法人ホームページ情報の一部リニューアルを実施。新たに利用料のページを増やし、施設設備については写真を多く使用しわかりやすい内容へと変更した。SNSの活用では、コロナ禍の影響も有り、各施設の更新が進まない状況が見られた。しかし、定期的に更新をすることによってフォロー数も増え、求人希望につながるケースもあった。

③事業内容に対する取り組み

ア 法人パンフレットの改訂および管理

- ・カナンを修正。管理を継続し、変更があれば改訂の準備を進める。

イ 施設 PR パンフレットの改訂および管理

- ・法人玄関の補充を定期的実施。現在、同じ書式を使用せずに施設ごとに作成中。

ウ 「施設紹介ムービー」の更新・管理と活用

- ・大きな変更はなし。

エ 「恵の園からのメッセージ」ムービーの更新・管理と活用

- ・研修や見学者来園時に使用した。

オ 「ヒストリームービー」の作成・管理と活用

- ・上申中。

カ 施設紹介パネルの更新および管理

- ・所定の場所に掲示。

キ ホームページの更新および管理

- ・各施設の行事、求人情報等を随時更新した。また、フェイスブック、インスタグラムの更新も同時に実施した。

ク 恵の園ニュース「一粒の麦」の作成および配布と管理

- ・夏号、新年号共に発行が遅れた。
- ・毎号 2,500 部印刷、約 1,200 部を送付。
- ・夏号：令和 3 年 9 月 12 日発行
- ・秋号：令和 3 年 12 月 7 日発行
- ・新年号：例年 4 年 2 月 25 日発行

ケ 職場啓発ポスターの掲示および管理

- ・2ヶ月に一度ローテーションし、所定の場所に掲示した。

(3) 地域福祉係

①概要

昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響があり、予定していた活動はほぼ実施することができなかった。重点目標に掲げた「新しい地域福祉活動を実施する」については、10月よりボランティア団体信愛えんがわカフェが主催するフードパントリーへ寄付品の協力を開始した。

②重点目標に対する取り組み

ア 新しい地域福祉活動を実施する

- ・6月にフードパントリーへの協力依頼があり、検討を開始した。10月～3月の間で、計244品を無償で提供した。

イ 地域福祉係の担当業務を整理し、担当内の役割分担を明確化する

- ・地域福祉係の役割分担表にもとづき、各業務の再確認を行なった。その中で「地域交流ホームの物品の貸し出し」「パイロットクラブによるサマーコンサート」「ふれあいボウリング」の3つは完成した。しかし、それ以外の内容には着手することができなかった。

③地域との交流について

- ・渋川市社会福祉協議会が主催しボランティアの日事業の一つである「コロナに負けない！ボランティアメッセージ」に職員4名が協力をした。
- ・今年度より地域サービスウィークとし、6月と10月に利用者と共に明保野地区の環境美化活動を実施した。

④講師等の派遣について

- ・榛名女子学園から介護職員初任者研修の講師の依頼があり、職員16名が講師を担当した。

⑤その他

- ・渋川ライオンズクラブのふれあいボウリング大会や高崎パイロットクラブコンサート、Jリーグ「ザスパ草津」観戦、BCリーグ「ダイヤモンドペガサス」観戦招待は中止になった。
- ・豊秋赤十字奉仕団（旧豊秋婦人会）より、花の苗をいただき、各施設へ配布した。
- ・高柳歌謡教室発表会は開催されなかった。
- ・恵の園をささえる会のボランティア活動の実施はなかった。
- ・4名のボランティア登録があり、内1名は採用に繋げることができた。
- ・あけぼのホームにて、7月に友近890のZ00mを活用したオンラインライブの受け入れを行なった。

(4) 支援向上委員会

①概要

虐待防止の手引き書づくりを継続、取り入れる項目や文章表現などを担当間で検討し作成しまとめるが、完成はできなかった。

②重点目標に対する取り組み

ア 手引書の完成

- ・検討段階で完成できなかった。

イ 昨年度実施した「仕事の基本チェックリスト」から出た課題について整理し取り組む

- ・呼称やグレーゾーンなどの課題を手引書に盛り込み作成中。
- ・苦情解決のシステムについてNDソフトに記入できるようにし、共有化を図りやすくした。

(5) 公益的取り組み

①概要

新型コロナウイルス感染拡大にともない、昨年度に引き続き介護予防教室の再開は行えなかった。明保野地区へ回覧板を活用し情報提供を行なった。また渋川広域障害福祉なんでも相談室にも作製した介護予防リーフレット置かせていただいた。法人のホームページを利用し、公益的な取り組みの実施状況等についても発信した。

②重点目標

ア 現在行なっている取り組みを確実に実施し、さらに新たな取り組みを検討する

- ・昨年に引き続き、コロナ禍での『生活不活発』による健康への影響や、加齢に伴い身体機能の低下や認知機能の低下、持病の悪化が危惧されるため、住み慣れた環境で安心して生活を送れるよう、「予防も福祉」という視点を持って、身体機能維持、向上を図るだけでなく、栄養改善、口腔機能の向上等の面からも、段階的に情報提供をしていければと考え、地域の回覧板を活用し恵の園独自で作成したリーフレットで情報提供を行なった。

イ 法人の事業方針に準じた取り組みを行なう。

- ・恵の園として、事業の継続、広い意味での福祉を展開していくために、まずは、リボン活動について目を向け、具体的な啓蒙、啓発、推進には至っていないが検討を進めている。また、近隣の方から買い物を含む高齢者の移動についての情報を収集した。

③社会福祉に関する教育活動や情報提供

- ア ペットボトルのキャップを年間を通じて約 200 kg 収集し、世界の子供にワクチンを送る支援の協力を行なった。
- イ 福祉体験学習及び職場体験活動を 2 名、10 日間にわたり受け入れた。
- ウ 榛名女子学園の介護職員初任者研修に講師 15 名、23 日間派遣した。
- エ 福祉系専門学校及び大学の学生さんの資格取得に向けた現場での実習を、延べ 26 名、198 日間に渡り受け入れた。
- オ 福祉・教育・医療分野の広報誌「魁」を年 3 回、毎回 3,000 部発行し、一般の方々へ福祉啓蒙活動を行なった。

④福祉サービス対象外の方への支援

- ア 通院・入院が困難な方々に対して、職員が同行し、手続きや入院中の支援を行なった。
- イ 障害特性等で地域生活が困難な利用者 1 名に対して、職員寮を安価で提供し、生活全般の支援を行なった。

⑤地域の福祉ニーズに対する取り組み

- ア NPO 法人渋川広域障害保健福祉事業者協議会に役員 1 名が経営参加、また、職員 1 名を派遣し、渋川市の相談支援を中心としたニーズに応えるとともに相談支援事業所「ぶどうの木」と連携し計画相談や一般相談を行なった。
- イ 10 月よりボランティア団体信愛えんがわカフェが主催するフードパントリーへ寄付品の協力を開始した。

⑥少年矯正事業への協力

- ア 前橋家庭裁判所および高崎家庭裁判所からの補導少年の福祉現場での体験実習を受入れた。

期 間	性別	人数	合 計
11/2、5、12 (3 日間)	男	1	1 人 (3 日間)

(令和 2 年度 3 人)

- イ 榛名女子学園の園生の福祉現場での奉仕活動については、新型コロナウイルス感染防止のため中止となった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(令和 2 年度 0 人)

⑦災害時における要配慮者への支援

- ア 災害時対応マニュアルを作成し、6月に風水害を想定した一斉訓練を実施した。地域の方々が災害時・遭難時など食物・飲用水の入手が困難な場合に備えるため防災備蓄食の在庫の確認を行なった。

令和3年度

施設事業報告書

社会福祉法人 恵の園

種 別	施 設 名 称
障 害 者 支 援 施 設	グ レ イ ス ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	あ け ぼ の ホ ー ム
障 害 者 支 援 施 設	め ぐ み の 里
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	ベ テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	エ ス テ ル
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	シ ヤ ロ ー ム
障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業	マ イ ー ム
相 談 支 援 事 業	ぶ ど う の 木
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	カ ナ ン
認 知 症 対 応 型 老 人 共 同 生 活 援 助	さ つ き
デ イ サ ー ビ ス	ゆ う か り
福 祉 用 具 貸 与 ・ 販 売 事 業	ポ パ イ
居 宅 介 護 支 援 事 業	シ オ ン の 丘
収 益 事 業	オ リ ー ブ

目 次

第1章 年間行事、集会等	1
第2章 会議・研修・集会等一覧	3
第3章 障害者支援施設	
1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	5
2. あけぼのホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	10
3. めぐみの里〔生活介護事業・施設入所支援事業〕	17
第4章 障害福祉サービス事業所	
1. ベテル〔就労継続支援事業B型〕	22
2. エステル〔就労継続支援事業B型・生活介護事業〕	26
3. シャローム〔就労継続支援事業B型〕	31
4. マイーム〔共同生活援助事業〕	34
第5章 相談支援事業	
1. ぶどうの木	36
第6章 高齢福祉事業	
1. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕	38
2. さつき〔地域密着型サービス認知症対応型老人共同生活援助〕	46
3. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕	49
第7章 公益事業	
1. ポパイ〔福祉用具貸与・販売事業〕	51
2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕	52
第8章 収益事業	
1. オリーブ	53

第1章 年間行事、集会等

(法=法人、B=ベテル、GH=グレイスホーム、AH=あけぼのホーム、里=めぐみの里、エ=エステル、シャ=シャローム、さ=さつき、マ=マイーム

カ=カナン、ゆ=ゆうかり、ぶ=ぶどうの木、シ=シオンの丘、高=高齢者施設)

月	合同行事	施設別行事	研修会・集会・会議	その他
4	辞令交付式 1日	お花見(各施設で実施)	現任研修1回(各施設で実施) 新任職員研修 1.2.5.6日 創立の精神を学ぶ集い 12日	チャイの日 14日
5		ドライブ(ゆ) 10.11.13.14日	現任研修1回(各施設で実施) 新任指導職研修 7日 監事監査 21日 理事会 26日	
6		親笑レクリエーション 30日	現任研修1回(各施設で実施) 評議員選任解任委員会 8日 評議員会 15日 理事会 15日	地域サービスウィーク 14～18日
7			現任研修1回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修 5日 一般職研修 16日 故人を偲ぶ会 19日 経営会議 19日 運営協議会 21日	職員ボランティア 10日
8		納涼祭 4日 暑気払い会食会(AH) 11日 ミニ納涼祭(里) 19日 旬味祭(GH) 26日	現任研修1回(各施設で実施)	
9		夏季レクリエーション(エ) 18日 敬老の日祝い(カ) 25日	現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 21日 理事会 24日 創立の精神を学ぶ集い 25日	
10	創立記念日(53周年) 20日	秋を味わう会(さ) 11日 外部評価実施(さ) 14日 運動会(ゆ) 29日 ハロウィン行事(GH) 29日	現任研修1回(各施設で実施) 新任チーフ研修 1日 一般職研修 18日 創立の精神を学ぶ集い 18日 永年勤続職員表彰 18日	地域サービスウィーク 4～8日 職員交流会① 8日 職員交流会② 10日
11	筑井孝子先生チャリティ絵画展 20～23日	ドライブ(ゆ) 4.5.6.8日 日帰り旅行(B) 11日	現任研修1回(各施設で実施)研 全体研修 1日	

	秋桜祭(園内作品展) 30～12/9	秋季レクリエーション(エ) 19日 秋覚祭(GH) 26日	新任研修(中途) 12.15～17日 創立の精神を学集い 29日
12	クリスマス集会 24日 仕事納め・大掃除 28日	年末会食会(AH) 8日 会食会(エ) 8日 望年会(カ) 16日 会食会(さ) 22日 クリスマスパーティー(里) 24日 忘年会(ゆ) 30日	現任研修1回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修 3日 指導職研修 17日 理事会 20日 創立の精神を学ぶ集い 20日
1	仕事始め・新年会 4日	新年会(GH) 6日 新年会(AH) 12日 新年会(カ) 13日 駅弁の日(里) 28日 魚の解体ショー(エ) 28日	現任研修1回(各施設で実施) 経営会議 18日
2			現任研修1回(各施設で実施) 創立の精神を学ぶ集い 12日 理事会 28日
3			現任研修2回(各施設で実施) 新任フォローアップ研修 10日 経営会議 18日 創立の精神を学ぶ集い 22日 評議員会 23日

第2章 会議・研修・集会等一覧表

各施設の会議及び集会、研修について下記のとおり実施した。

(1) 会議・集会等

	会議等の種類	曜日・回数等	時間	場所	出席の範囲
会 議	経営会議	隔月	13:30~15:30	めぐみの里会議室	相談役、理事長、施設長
	管理職会議	毎週火曜日	10:10~12:00	めぐみの里会議室	施設長、副施設長
	チーフ会議	毎週火曜日	13:00~14:00	めぐみの里会議室	チーフ(各部署から1名)施設長又は副施設長が必ず参加
	地域福祉係会議	第1金曜日	14:10~16:00	めぐみの里会議室	地域福祉係担当者
	人材育成係会議	第2金曜日	14:30~16:00	めぐみの里会議室	人材育成係担当者
	広報係会議	第4金曜日	14:00~16:00	めぐみの里会議室	広報係担当者
	防災防犯係会議	第1水曜日	14:10~16:00	めぐみの里多目的室	防災係担当者
	安全衛生委員会	第2金曜日	13:30~14:30	めぐみの里会議室	安全衛生管理監督者、衛生管理者、産業医、担当職員
	IT担当会議	第2木曜日(奇数月)	14:10~15:00	めぐみの里会議室	IT担当者
	固定資産管理係会議	隔月	14:10~15:00	めぐみの里会議室	固定資産管理係担当者
	ベテル会議	第3木曜日	16:00~17:00	ベテル製袋班	施設長、所属職員
	グレイスホーム会議	第1.3木曜日	14:00~16:00	グレイスホーム職員室	施設長、所属職員
	あけぼのホーム会議	第3木曜日	14:00~16:00	あけぼのホーム職員室	施設長、所属職員
	めぐみの里会議	第1.3木曜日	14:00~16:00	めぐみの里多目的室	施設長、所属職員
	シャローム会議	毎月1回	16:00~17:30	シャローム職員室	施設長、所属職員
	エステル会議	第3水曜日	17:30~19:00	エステル職員室	施設長、所属職員
	あじさいの家会議	月1土曜日	9:00~10:00	あじさいの家職員室	施設長代理、所属職員
	知的障害者施設 給食会議	第3木曜日	13:00~14:00	めぐみの里会議室	栄養士、給食担当者、業務委託者他
	バルナバホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	さくらホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	クロスホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	ダビデホーム会議	隔月1回	9:30~11:00	めぐみの里会議室	サービス管理責任者、世話人、バックアップ施設職員
	さつき会議	第4水曜日	14:00~16:00	さつき職員室	施設長代理、所属職員
	ぶどうの木会議	第3水曜日	13:00~15:00	ぶどうの木相談室	施設長、所属職員
	ポパイ会議	第1金曜日	15:15~17:15	ポパイ相談室	施設長、所属職員
	カナン会議	第1.3水曜日	14:00~16:00	カナン地域交流室	施設長、所属職員
	ゆうかり会議	第3火曜日	17:30~18:30	ゆうかりダイルーム	施設長、所属職員
	庶務・経理係会議	第1水曜日	10:00~12:00	庶務・経理事務室	総務部長、所属職員
	身体障害者施設 給食会議	第3水曜日	14:00~15:00	グレイスホーム食堂	栄養士、給食担当者、業務委託者他
	集 会 等	職員朝礼	毎日	8:40~8:50	合同事務所
全体朝礼		毎週月曜日	8:55~9:10	あけぼのホーム前広場	身体障害者施設利用者、職員
創立の精神を学ぶ集い		土、月 月1回	10:20~11:50	めぐみホール	利用者、職員

(2) 研修会

研 修	管理職研修(相談役による)	年 4 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	管理職
	指導職研修(相談役による)	年 3 回	10:30~12:00	めぐみの里多目的室	指導職
	新任チーフ研修	年 1 回	9:00~12:00	めぐみの里会議室	新任チーフ
	新任職員研修	年 1 回	9:00~20:00	研修センターリバーサイド	前年度中途採用職員(T1含)、新任職員(T1含)
	新採用職員研修(フォローアップ研修)	年 1 回	9:00~12:00	めぐみの里会議室	前年度中途採用職員(T1含)、新任職員(T1含)
	現任研修(一部役職研修含む)	年 15 回	各部署で設定	各部署	相談役、理事長、管理職、指導職、一般職他
	全体研修	年 2 回	17:45~19:00	めぐみの里多目的室	管理職、指導職、一般職員

第3章 障害者支援施設

1. グレイスホーム〔生活介護事業・施設入所支援事業〕

(1) 概要

職員の年度途中の退職及び体調不良による長期欠勤や変則勤務が難しくなった職員への勤務調整等が複数重なり、管理職による変則勤務対応また他施設管理職の夜勤や入浴の応援なども入れながら支援を行なった。

昨年同様新型コロナウイルスの影響で、利用者の外出支援等を行なえず、会食会などの行事を増やし余暇活動の充実を進めた。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
7月31日	女性	福生市	4月2日	男性	渋川市
11月18日	男性	玉村町	4月22日	男性	渋川市
1月22日	男性	長岡市	9月9日	男性	沼田市

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す

- ・継続して既存のマニュアルを見直し、必要時応じ修正を行なった。
- ・入浴機器等の導入ではリフトの取りいれを検討した。ICT分野では職員間の連携にスマートフォンを活用や、勤務表作成ソフトの導入など検討したが共に導入には至らなかった。

(4) 利用者支援

①生活介護・施設入所支援

ア 生活支援

- ・昨年同様にコロナ禍で外出ができない状況の代替として、デリバリーサービスを利用した余暇の提供や施設独自の行事を例年より回数を増やして実施した。また、保護者とオンラインで面会を行なった。

イ 機能訓練

- ・ケース会議、リハビリカンファレンスにて居室にこもりがちな利用者に対してのアプローチを検討。訓練に参加しやすい環境を整え、居室で行なっている利用者に対

してはモニタリング時に確認をした。

ウ 創作・文化活動

- ・ぴあっとは回数を増やして実施。作ることの楽しさや達成感を味わえるものとした。

エ 生産活動

- ・一粒の麦の封入発送作業を実施した。

オ 医務面

- ・定期的な健康診断・検査・健康診断を行ない、異常が見られた利用者には医師の指示を仰ぎながら健康の維持管理を図った。
- ・生活支援員と看護師とで連携をとり、体調不良の利用者の早期発見、早期対応を行った。

・年間報告

月	項目	内容
5	利用者採血	(株) BML
6	利用者前期健康診断	嘱託医 28名
7	職員健康診断 コロナワクチン接種 (1回目) 耳鼻科検診	三愛クリニック(35歳未満職員・深夜業務従事者)10名 利用者 24名 利用者 28名
8	利用者定期結核健康診断 コロナワクチン接種 (2回目)	渋川保健福祉事務所 20名 利用者 24名
11	インフルエンザ予防接種	利用者 22名、職員 16名
12	利用者後期健康診断	嘱託医 28名
1	職員胸部レントゲン撮影・採血	三愛クリニック (35歳未満職員)
2	コロナワクチン接種 (3回目)	利用者 11名
3	コロナワクチン接種 (3回目)	利用者 10名
※生活習慣病予防健診 (35歳以上の職員)		
※訪問歯科実施 (KK伊香保デンタル: 毎週火曜日)		

・通院状況 (延件数)

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	神経科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
99	6	2	18	36	62	84	96	29	17	10	6	2	467

(令和2年度 444件)

・園内治療状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
502	445	525	512	565	565	445	467	328	483	468	519	5,924

（令和2年度 5,812人）

・医師診察状況（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
14	11	28	11	12	11	11	11	28	11	11	11	170

（令和2年度 167人）

・訪問歯科（延人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	18	24	20	29	18	24	22	24	27	23	29	245

（令和2年度 232人）

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院
K.T.	尿道形成術	3/8～4/12	渋川医療センター
Y.Y.	緑内障手術	4/12～4/20	群馬大学病院
S.H.	消化管出血	4/28～5/13	北毛病院
S.H.	腎盂腎炎	4/28～5/10	北毛病院
T.A.	下垂体機能不全	5/7～5/20	渋川医療センター
S.S.	白内障手術	5/14～5/15	北毛病院
S.N.	胆石症	6/22～6/29	日高病院
K.T.	膀胱カテーテル抜去	8/18～8/20	渋川医療センター
S.M.	急性腎不全	10/25～11/17	渋川医療センター
S.M.	肺炎	11/7～1/22	北毛病院
S.S.	尿路感染症	12/3～12/10	渋川医療センター
K.S.	脳出血	12/23～12/24	老年病研究所病院
K.S.	肋骨骨折	12/27～1/12	北毛病院
O.H.	脳出血	3/9～	沼田脳神経外科循環器科病院
K.T.	尿路感染症	3/11～3/18	有馬クリニック
K.T.	大腿部頸部骨折	3/23～	渋川医療センター
N.T.	閉塞性黄疸、胆管癌疑い	3/23～	渋川医療センター

オ 食事面

- ・利用者個人の健康状態や嚥下機能等に合わせて食形態を検討し提供した。
- ・委託業者のもと、郷土料理などの行事食、選択メニューなどを定期的に提供した。
- ・グレイスホームが専用で使用しているお盆が経年劣化による破損が見られるようになり、新規で購入し再整備を進めた。

②年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	8	花見	11	3	ケーキパーティー
6	30	親笑レク	12	24	クリスマス集会
7	29	日中想定避難訓練	1	6	自治会主催新年会
				25	もちを楽しむ会
8	4	納涼祭（オンライン）	2	22	夜間想定避難訓練
	26	旬の味覚を味わう会		24	旬の味覚を味わう会
10	31	ハロウィン行事	3	22	地震想定避難訓練

（5）建物設備整備状況

月	内 容	月	内 容
4	受水槽水質検査	10	ボイラー点検 身障厨房害虫駆除
5	消防設備点検	2	館内ワックス掛け 消防設備点検
6	館内ワックス掛け	3	受水槽点検
7	玄関屋根上のキイロスズメバチの巣の駆除		

（6）短期入所事業

①概要

在宅生活が困難となり施設入所を希望される利用者の長期受入やグループホームでの生活で一時的に支援が必要になった利用者の受入など相談支援事業所と連携をとりながら対応した。

コロナ禍で利用を制限することもあり、利用率は大幅に下がった。

②年間利用状況

支援機関	実利用者数	性別	延べ利用回数及び日数	
吉岡町	1名	男性	1回	3日
沼田市	1名	男性	1回	45日
合計	2名		2回	48日

利用稼働率：13.1%（前年度46%）

③重点目標に対する取り組み

- ア 個別支援計画を本人・家族の希望や意見を確認しながら作成した。本人にとって安心、安全な生活が送れるよう声掛けを行ない、体調不良時には通院等の支援を行なった。
- イ 利用希望や施設見学の連絡を受けた際には、見学に来て頂けるように働きかけ、利用にあたっての相談等を行なった。

2. あけぼのホーム〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

令和2年度末から貯湯槽の水漏れが発生。貯湯槽の更新工事が終了するまでは他施設の機械浴を借用し入浴対応を行なった。新型コロナウイルスの流行により外出などの企画ができなかったため、館内でできるレクリエーションやクラブ活動などを増やして対応した。11月限定で、利用者の皆様とご家族との面会の希望をとり、16家族30名のご家族が来園された。施設内建物設備については貯湯槽の更新工事及び食堂と1階ダイニングルームのエアコン交換工事などを実施した。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	実施機関	入所日	性別	実施機関
12月24日	男性	足立区	7月12日	女性	杉並区
3月28日	女性	小金井市	9月13日	男性	足立区
			3月1日	男性	品川区

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を目指す。

- ・利用者の支援マニュアルを全職員が把握し、月毎に強化月間を設けて実践する。
現任研修を月1回計画、正職員が講師を担当し、マニュアルを用いて研修を実施したマニュアルの更新を実施することができた。また職員向けのアンケートを実施。アンケートの結果を職員会議や役職会議で共有・検討。未作成のマニュアルについては次年度へ持ち越しとした。
- ・職員間の連携を深めるために会議やカンファレンスの機会等を意図的に作り出し、支援の充実を図る。
- ・栄養ケアとリハビリの会議を毎月実施することができたが、居室会議については定期的に勤務表で組み込むことができなかった。また職員向けのアンケートを実施。アンケートの結果を職員会議や役職会議で共有・検討し、ケース担当の編成や役割分担、会議の実施方法などを見直した。
- ・中長期計画を見据えたICT等の技術導入を全職員で検討し、さらに進める。
職員間で意見交換を行なったが具体的な導入には至らなかった。また職員向けのアンケートを実施。アンケートの結果を職員会議や役職会議で共有・検討し次年度へ繋げることにした。全館Wi-Fiを整え、具体的な機器を導入する方向で検討中。

(4) 生活介護・施設入所支援事業

①生活支援

- ・利用者の支援変更の書式を作成し、全職員が周知できるように回覧した。
- ・事故、インシデント、ヒヤリハットの内容を毎月職員会議で検討し、再発防止を含めた対応を全職員に周知した。

②リハビリテーション

- ・利用者一人ひとりの身体機能が維持できるよう、生活に活かすリハビリを計画して進めた。
- ・集団で楽しみながら機能維持を図るために、ボッチャやストラックアウトを実施した。
- ・職員の腰痛予防として、朝・夕の腰痛予防運動を開始した。

③日中活動

- ・季節湯を提供した。また週毎に提供する給茶や月1回のデザートの日、おやつレクなど利用者が選択する機会を増やした。さらには月1回のリトミックを開始した。

活 動	内 容
一粒の会	あけぼのコミュニティー教会牧師、スタッフの協力による賛美集会
文芸同好会	自作の俳句、短歌、詩を詠む。
カラオケクラブ	ゲーム機のオンラインでカラオケを使用し、各々の得意な歌を歌ったり、カラオケ大会へ向けての練習を行なう。
書を楽しむ会	自由な発想で書道を楽しむ。
手芸会	ピン留めやカチューシャなどを作ったり、季節の貼り絵作り、編み物をしたりと利用者が色々な材料を使いながら楽しく、作品作りを行なう。
娯楽クラブ	テレビゲームの体感型ゲームやレクリエーションなど体を動かしながら楽しく行なう。

④健康管理

- ・入退院を繰り返す利用者に対して、家族や嘱託医、病院の主治医と連携を図り状態に合わせた支援や通院を実施した。
- ・新規入所者の受入時に家庭や病院等での様子を聞き取り、変化に応じた支援を他職種と連携を図りながら進めた。

- ・年間報告

月	内 容
5	前期健康診断事前検査実施（利用者）

6	採血（利用者） 前期健康診断実施（利用者） 深夜業従事職員健康診断（職員）
8	胸部X-P（利用者）
9	聴打診（利用者） 耳鼻科検診（利用者） 歯科検診（利用者）
9~12	生活習慣病予防健診（職員）
11	インフルエンザ予防接種実施（利用者・職員）
12	後期健康診断事前検査実施（利用者）
1	後期健康診断実施（利用者） 35歳未満職員健康診断（職員）

・通院状況（延べ人数）

内科	外科	耳鼻科	眼科	皮膚科	神経科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	神経内科	精神科	婦人科	合計
69	31	13	16	22	3	111	3	9	31	16	5	24	0	353

（令和2年度 264）

・園内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
682	617	647	588	672	687	707	719	699	649	618	671	7,956

（令和2年度 8301）

・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	126	1,512

（令和2年度 1512）

・入院状況

氏名	病名	期間	病院名
K.S	高次脳機能障害	3/3~5/17	榛名病院
		9/29~10/18	
		10/21~1/19	
		3/4~	
S.N	誤嚥性肺炎	4/1~4/19	北毛病院
		4/25~6/16	
		6/18~6/30	
		7/3~7/28	
		7/30~9/7	

		9/10～1/13 1/23～	
Y.T	誤嚥性肺炎	3/27～4/9 4/29～7/13 8/23～8/26 9/9～9/29 10/18～11/9 11/17～11/29 12/28～1/6 2/24～3/14	北毛病院
A.O	尿路感染症 イレウス	4/26～5/13 11/27～12/6	北毛病院
A.S	蜂巣織炎	3/15～4/9	群馬中央総合病院
J.O	ペグ交換	4/14～4/15 9/8～9/9	北毛病院
Y.A	ペグ交換 SPO2 低下 ペグ交換 尿管結石 肺炎	4/26～4/27 5/17～5/31 9/1～9/2 12/30～1/14 2/20～3/3 3/18～3/28	北毛病院 渋川医療センター 北毛病院
H.M	尿路感染症	6/1～6/14 7/6～7/19 7/20～8/16 9/6～10/21 1/24～1/26	有馬クリニック
T.O	胆石	2/3～3/4	北関東循環器病院
M.A	心不全	11/22～12/15	北関東循環器病院
H.T	ペグ交換 尿路感染症 ペグ交換	6/9～6/10 10/13～10/14 11/22～12/14 3/9～3/10	北毛病院
K.S	尿路感染症	12/21～12/28	有馬クリニック
S.E	肺炎	10/14～11/24	北毛病院

・訪問歯科状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
72	51	64	71	59	67	70	63	59	56	64	72	768

（令和2年度 555）

⑤食事

- ・委託業者の企画したイベント食（郷土料理）や、選択メニューなどを提供し、利用者からも好評であった。
- ・食器の定期購入や厨房機器のメンテナンス等、使用頻度の高いものから随時買い換えを行ない、厨房の職員が使いやすい環境整備に努めた。
- ・利用者の身体状況、嚥下機能を摂食嚥下専門医や他職種と連携しながら確認し、個々に適した食事提供や支援を実施した。

【常食】

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー(kcal)	1,604	1,605	1,610	1,608	1,610	1,606
蛋白質(g)	61.4	61.3	62.2	63.5	62.0	61.6
脂質(g)	44.3	44.2	44.9	44.1	44.8	44.5
塩分(g)	8.0	8.1	8.2	8.1	7.9	8.5
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー(kcal)	1,611	1,606	1,608	1,608	1,608	1,604
蛋白質(g)	60.7	61.4	61.6	61.6	62.3	61.5
脂質(g)	43.7	44.1	44.3	43.6	43.5	43.0
塩分(g)	8.2	8.1	8.3	8.1	8.2	8.2

【軟菜食】

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー(kcal)	1,412	1,409	1,402	1,403	1,407	1,407
蛋白質(g)	50.6	52.0	52.4	53.8	53.4	52.7
脂質(g)	46.4	45.0	44.6	43.8	44.4	43.9
塩分(g)	8.0	8.4	8.4	8.4	8.1	8.7
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー(kcal)	1,414	1,414	1,410	1,413	1,417	1,407
蛋白質(g)	51.9	52.4	52.2	53.0	53.3	52.3
脂質(g)	43.4	44.3	44.3	43.8	43.8	42.5
塩分(g)	8.5	8.2	8.7	8.3	8.6	8.6

⑥年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	14	花見	10	6 21	地域サービスデイ 館内ワックス
5			11	11 20～23 24 30	館内ワックス チャリティ絵画展 インフルエンザ予防接種 夜間想定防災訓練
6	16 30 16,20 15,23	地域サービスデイ レクリエーション大会 深夜業従事者職員健康診 断 利用者聴打診	12	9 24	年末会食会 クリスマス集会
7	1,2 3 7 9,12 14	利用者採血 日中想定防災避難訓練 利用者胸部レントゲン 1回目のコロナワクチン接 種 館内ワックス	1	12 20 25,28	新年会 チャリティバザー 35歳未満職員健康診断
8	2,3 11	2回目のコロナワクチン接 種 暑気払い	2	2 28	第三者評価 3回目のコロナワクチン 接種
9	8,15 15 22,29	耳鼻科検診 館内ワックス 利用者聴打診	3	7,15 8	3回目のコロナワクチン 接種 地震想定防災訓練

(5) 建物設備整備状況

- ・貯湯槽の更新工事を実施した。
- ・食堂と1階ダイルームのエアコン交換工事を実施した。
- ・館内のトイレ、エアコン、浴室の清掃を業者に依頼して実施した。

(6) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・利用者、ご家族が安心して利用できるよう、サービス担当者会議を実施。相談支援事業所ぶどうの木とも調整を行ないながら対応を進めた。

- ・目黒区の短期入所利用者が東京都の入所施設へ移行するまで利用した。新規入所施設への入所準備を進めた。

②利用状況

〔短期入所事業〕

支援機関	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
渋川市	1名	女性	3回	15日
合計	1名		3回	15日

利用率 1.4%

〔目黒区重度身体障害者短期入所事業委託〕

支援機関	実利用者数	性別	のべ利用回数	のべ利用日数
目黒区	1名	女性	1回	15日
合計	1名		1回	15日

3. めぐみの里〔生活介護・施設入所支援事業〕

(1) 概要

10月に2件の死亡事故（不適切な身体拘束を起因とする事故、入浴介助時の見守りを怠ったことを起因とする事故）を起こしてしまった。二度と同じ事故を繰り返さないために再発防止策に取り組む。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	実施機関	入所日	性別	実施機関
8月29日	女	安中市	なし		
9月8日	女	渋川市			
10月23日	男	川場村			
10月28日	男	太田市			

(3) 重点目標に対する取り組み

業務の整理と効率化を図り、支援の質を高める。

- ・「事故」「身体拘束・行動制限」「感染症」などの対応について、業務の標準化（フロー作成など）をしていくことを目指したが、完遂できていない。外国人介護人材等、多様な人材に活用できるように、次年度も引き続き取り組む。
- ・iPad2台（補助金で購入）を導入し、主に夜勤中にフロアで活用できるようにした。
- ・専門知識取得のための研修（発達障害支援者養成研修、強度行動障害研修等）に参加した。また、作業員を対象としたミニハラスメント研修を企画・実施した。

(4) 生活介護事業・施設入所支援事業

①生活支援

- ・2件の死亡事故について検証をすると、「利用者支援における基本動作ができていない」「管理者・役職者の役割機能は働いていない」「記録・文書管理ができていない」「報連相・情報の共有化・スピード感の欠如」など業務の基本が徹底されていない点が多く挙げられた。

また、身体拘束・行動制限が日常化していた。「慣れ・緊張感の薄れ」「仕方ない」「職員側の都合」等で、身体拘束に頼った支援を行っており、通常の支援ではないという認識がめぐみの里全体で薄れていた。一人ひとりが、一つひとつの業務を確実に丁寧に継続的に行ない、実行を積み上げていく。

- ・コロナ禍のため、県の警戒度に応じて利用者の帰省・外出・面会を大幅に制限した。行事等も中止になることが多くあったが、めぐみの里独自で夏祭りやリトミックなど

を行なった。(学生の実習やボランティアは、可能な限り受入をした)

②医療健康管理

- ・新型コロナウイルス感染症の予防策として、館内の換気や手指洗浄、職員の防護服の着脱訓練などを行なった。また、嘱託医協力の下、利用者・職員の新型コロナウイルスのワクチン接種(1~3回目)を実施した。
- ・昨年度に引き続き、嘔吐下痢症やインフルエンザ等の感染症流行を防げた。
- ・昨年度、訪問歯科(オーラルケア前橋デンタルクリニック)を数年ぶりに再開した。順調に実施できている。
- ・年間報告

月	項目	内容
6	利用者採血 利用者定期結核健康診断	ビーエムエルで検査 渋川保健福祉事務所
7	新型コロナワクチン接種(1回目) 利用者前期健康診断	嘱託医
8	新型コロナワクチン接種(2回目) 深夜業従事者健康診断	嘱託医 三愛クリニック
11	インフルエンザ予防接種 利用者後期健康診断 耳鼻科検診	嘱託医 嘱託医 川島医師
1	35歳未満職員健康診断	三愛クリニック
3	新型コロナワクチン接種(3回目)	嘱託医
※	生活習慣病予防健診(35歳以上の職員)	

※毎週、嘱託医(井口Dr)が来園

※奇数月に摂食嚥下専門医(山川Dr)が来園

・通院状況(延人数)

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	眼科	精神科	泌尿器科	整形外科	脳外科	循環器科	呼吸器科	他	合計
57	1	21	4	37	16	69	65	76	12	0	5	7	370

(令和2年度 471件)

・園内治療状況(延人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
524	578	392	461	418	402	464	410	510	446	408	473	5,486

(令和2年度 4,563人)

・医師診察状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
嘱託医	2	2	1	0	5	4	2	5	4	4	9	1	39
歯科	35	47	41	39	61	79	69	44	42	47	49	51	604

(令和2年度 43人)

・入院状況

氏名	病名	入院期間	病院
N.R	服薬調整	R3.6.2～R3.9.6	榛名病院
A.S	右大腿骨頸部完全骨折	R3.6.29～R3.7.8	関口病院
W.T	てんかん発作	R3.10.4～R3.10.18	北毛病院
I.N	誤嚥性肺炎	R3.12.15～R4.1.27	渋川医療センター
M.C	体調不良	R3.12.15～R3.12.16	北関東循環器病院
M.C	アテローム性の脳梗塞	R3.12.16～	老年病研究所附属病院

※骨折事故：8件、裂傷事故4件、無断外出：2件、職員労災事故：5件

③食事

- ・食物繊維を朝食の汁物に添加し、約3g/日摂取量が増加した。
- ・「食料構成表に基づいた食材量」「委託業者が入ってからの食材・人件費の推移」を算出し、材料費に反映できるように契約変更に向けて取り組んだが、契約変更には至っていない。
- ・利用者状況の変化に伴い、食堂テーブルを一部買い替えた。

【常食】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー (kcal)	1916	1905	1914	1905	1904	1912
蛋白質 (g)	71.7	71.4	71.7	70.7	71.6	71.4
脂質 (g)	49.1	49.1	48.8	47.0	47.9	49.0
塩分 (g)	8.8	8.9	8.8	8.8	8.9	8.8
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エネルギー (kcal)	1905	1904	1910	1899	1907	1907
蛋白質 (g)	71.0	70.8	70.8	70.6	69.9	69.5
脂質 (g)	48.4	48.8	49.3	48.9	48.9	49.6
塩分 (g)	8.8	9.0	9.0	8.6	8.9	9.0

④年間行事報告

月	日	内容
4	1	花見
6	9	Uレク
	14	地域サービスウィーク（三角公園付近の除草作業）
8	4	オンライン納涼祭
	19	めぐみの里夏祭り
	26	防災訓練（夜間想定）
9	15	Uレク
10	5	地域サービスウィーク（三角公園付近の除草作業）
11	10	Uレク
12	24	クリスマス集会、クリスマスティーパーティー
1	4	新年会

	27	防災訓練（日中想定）
	28	駅弁の日（家族会からの寄付金で実施）
2	3	節分
3	17	Uレク
	18	防災訓練（地震想定）

※コロナ禍のため、家族連絡会、キラキラレクなどは中止した。また、ナイスハートフェア、福祉パレード、障害者スポーツ大会も中止になった。

※9月より理髪業者が訪問理美容 J B-1 に変更になった。

（5）建物設備整備状況

- ・長年課題となっていためぐみホール作業棟脇の整備（粗大ゴミ処分）を実施した。
- ・令和2年度障害福祉分野のICT導入モデル事業で、iPad2台を購入。4月から活用をした。
- ・JKAの補助金申請をしたが、否採択だった。（コロナ対策：手洗い場整備）

実施月	内 容
4	簡易専用水道定期検査、浄化槽11条検査、ガラス清掃(アットハウスクリーン)
5	めぐみホール作業棟裏の粗大ゴミ処分（田子商会）、害虫駆除（西武消毒）
6	キュービクル改修工事（高圧/セイモア、低圧/群馬電工）、2,3階のベランダ排水溝清掃（アットハウスクリーン）
8	ボイラー漏水修理（日本サーモエナー）
9	自動ドア工事（群馬ナブコ）、安心見守りカメラ配線工事（コワパートナーズ）、厨房休憩室畳交換
10	渡り廊下・階段清掃（アットハウスクリーン）
11	多目的室改修工事（インテリアおおた）、2,3階ベランダ清掃（アットハウスクリーン）イルミネーション取り付け・樹木剪定（勢多造園）、ナノフィール点検（コロナ）
12	受水槽凍結防止対策（萩原興業）、しらねトイレ工事（萩原興業）、はるなトイレ手摺取替工事（円建工）
3	NAS交換（コワパートナーズ）、浄化槽汚泥引抜（南群馬浄化槽サービス）、受水槽清掃(日化メンテナンス)、ワゴンR車検（スズキ自販群馬）、安心見守りカメラ設置（コワパートナーズ ※リースで45台契約）

※ワックス掛け：6,9,11,3月の年4回実施（平成美装・太平ビルサービス）

※エレベーター点検：5,8,10,2月の年4回（東芝エレベーター）

※消防設備点検・消火器点検：5,11月（共和消防設備）

※スプリンクラー法令点検：8,2月（正栄技研）

※厨房害虫駆除：4,1月（ダスキンターミニックス）

第4章 障害福祉サービス事業所

1. ベテル〔就労継続支援事業B型事業〕

(1) 概要

新型コロナウイルスの感染拡大が続いた一年ではあったが、今年度は通所の自粛等の対応は行なわなかった。利用者・職員に感染者が発生することはなく、利用状況に大きな変化はみられなかった。

作業面では、6月1日からベテルコーヒーを使用したドリップバッグの販売を開始することができたが、販売促進のための取り組みに課題が残った。印刷班では、3月25日にオンデマンド印刷機の買い替えを行ない、新たな案件を受注するための取り組みを行なった。製袋班については、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、9月に2週間程機械を止めざる負えない状況になった。そのような中、平均工賃が25,136円の結果を残すことができた。

また、利用者のニーズに応えるため、施設入所支援を利用中の利用者1名が、2月1日より週2日利用することになった。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	支援機関	入所日	性別	支援機関
8月31日	男性	榛東村	2月1日	男性	江東区
1月11日	男性	渋川市	3月3日	男性	渋川市
			3月7日	男性	渋川市

(3) 重点目標に対する取り組み

①平均工賃22,000円を達成する

- ・平均工賃は、25,163円（前年比4,966円の増）目標である22,000円を達成することができた。
- ・各班年間売上と平均工賃

班名	令和3年度売上実績	令和2年度売上実績	前年比
印刷班	22,218,369	24,426,529	-2,208,160
販売班	1,098,020	1,302,185	-204,165
軽作業班	3,092,498	2,322,074	+770,424
製袋班	4,990,840	4,923,370	+67,470
各班合計	31,399,727	32,974,158	-1,574,431
平均工賃（月額）	25,163	20,197	+4,966

（単位：円）

②新規事業を導入する

- ・小池化学株式会社赤城工場より依頼があり、5月17日よりガスボンベの箱詰め作業の試行を開始、6月1日から正式に作業の導入を開始した。
利用者は、延べ10人以上が携わることができ、売上額は603,448円だった。

③就労系3施設が協力・連携し、新商品の開発をすすめ販売を実施していく

- ・新商品の開発には至らなかったが、マンナにてベテルコーヒーのテイクアウト販売を開始したことや月一回の合同の打合せで情報共有や意見交換等、今までになかった連携の一端は始めることができた。

(4) 各班収支状況

①印刷班

- ・年間売上額：約2,220万円（前年比：90%）。目標値は前年度単発イベントを除外して試算しており、目標額約2,000万円としていたため、達成率は111%となった。
- ・一般印刷以外の作業の具体的な検討に関してはガーメントプリント（布地への印刷）のニーズについてマーケティング実施。学校関係で教員や保護者から、コロナ禍でイベントが中止となった分、形として思い出に残る形のものが必要との声が多く聞かれた。

②販売班

- ・年間売上額：約2,220万円（前年比：90%）。目標値は前年度単発イベントを除外して試算しており、目標額約2,000万円としていたため、達成率は111%となった。
- ・一般印刷以外の作業の具体的な検討に関してはガーメントプリント（布地への印刷）のニーズについてマーケティング実施。学校関係で教員や保護者から、コロナ禍でイベントが中止となった分、形として思い出に残る形のものが必要との声が多く聞かれた。

③軽作業班

- ・年間売上額は、約309万円（前年比：約133%）、目標達成率は119%だった。内訳としては、銅箔とアルミの分別作業が114万円。発泡スチロールのテープ留め作業と排水溝部材の梱包作業を合わせて66万円であった。
- ・新規作業として、ガスボンベの梱包作業を開始し、売上額は約60万円であった。解体作業については、定期的な受注があった。
- ・発泡スチロールのテープ留め作業については、コロナ禍の影響を受け、12月、3月の入荷はなかった。1月、2月については回数が減少してしまっていたが、先方の配慮もあり作業が継続された。

④製袋班

- ・年間売上額は約 500 万円（前年比：102%）月平均では、約 41 万円となり、目標達成率は約 69%だった。総発送枚数は、約 970 万枚（前年比：約 100%）。新型コロナウイルスの感染拡大が続き、売上額、発送枚数ともに回復することができなかった。

（5）利用者支援

① 作業支援

ア 印刷班

- ・各自、個別支援計画に掲げた目標に対する支援を実施はしたが、断続的となり、全ての方が目標達成とまでは至らなかった。

イ 販売班

- ・ベテルコーヒーのドリップバッグ作製について、2名の利用者が作業を覚えることができた。

ウ 軽作業班

- ・年度途中で利用者2名が退所したが、長期欠席をしていた利用者が10月より通所利用を再開した。作業支援については、3名の利用者が新たに解体作業を覚えることができた。ガスボンベの梱包作業については、5名の利用者ができるようになった。

エ 製袋班

- ・利用者が複数の作業を対応できることに重点を置き、支援を行なった。ほぼ全員に対して、普段担当する工程以外にもチャレンジしてもらい、一定レベルの水準までは到達することができた。一方で、継続的に支援を行なうことができず、計画性に欠けてしまった。

②行事・集会開催状況

月	日	内容	月	日	内容
4	8	春季日帰り旅行	11	11	秋季日帰り旅行
6	30	親笑レクリエーション大会	12	28	慰労会
8	4	全体行事としての納涼祭	1	4	利用者新年会（お祝い膳）

（6）健康管理

①年間報告

月	日	項目	内容
4	22	血圧・体重測定	
5	19	利用者採血	
	31	血圧・体重測定	

6	25	血圧・体重測定	
	16	前期健康診断聴打診	嘱託医（利用者）
7	7	レントゲン検査	レントゲン車
	28	コロナワクチン 1 回目	嘱託医
	29	血圧・体重測定	
8	26	血圧・体重測定	
	28	コロナワクチン 2 回目	嘱託医
9	30	血圧・体重測定	
10	28	血圧・体重測定	
	29	インフルエンザ予防接種	
11	25	血圧・体重測定	
12	2	後期健康診断聴打診	嘱託医（利用者）
	27	血圧・体重測定	
1	26	血圧・体重測定	
2	24	血圧・体重測定	
3	10	コロナワクチン 3 回目	
	23	血圧・体重測定	

※ 9月・10月・11月・1月 生活習慣病予防検診実施（35歳以上の職員）

（7）日中一時支援事業

・利用者なし。

2. エステル〔就労継続支援事業B型事業・生活介護事業〕

(1) 概要

ご家族の高齢化に伴い、入所施設への移行が増え3名の利用者が退所となった。また、体調不良による長期欠席や精神不安による長期入院があり、就労継続支援B型では定員を下回り利用率の低下が著しい状態となり、マイナス決算となった。

就労継続支援B型では、新規作業を開始。また、新規利用者獲得のため、パン工房マんなでも新商品の開発や週4日営業への変更、特別支援学校への外部販売の再開、売店や職員販売等の取り組みから収入が増加した。生活介護では、生産活動へ取り組みとして花だけでなく野菜の苗作りも開始。職員やご家族を中心に販売することができた。

(2) 年間退所・入所状況

退所日	性別	実施機関	入所日	性別	実施機関
4月22日	女性	渋川市	10月11日	男性	渋川市
6月30日	男性	渋川市			
11月30日	女性	榛東村			

(3) 重点目標に対する取り組み

①就労継続支援事業B型

ア 平均工賃14,000円を目指す

・作業収入はコロナの関係で軽作業量が激減したが、9月より新規に昆布作業を開始したことで、昨年度の2倍以上の収入となった。工賃については、昨年度と変更はないが長期欠席者が数名いた関係で、平均工賃13,546円（県提出額）と目標を達成する事ができなかった。他事業所利用者等含むと12,993円となる。

・生産活動売上と平均工賃

生産活動内容	令和3年度実	令和2年度実績	前年比
公園清掃	921,360	990,000	-68,640
クリーニング事業	5,632,600	5,649,500	-16,900
パン工房事業	3,395,785	2,232,150	1,163,635
軽作業事業	2,163,246	899,368	1,263,878
合計	12,112,991	9,771,018	2,341,973
平均工賃（月額）	13,546	14,518	-972

（単位：円）

イ 今後について検討する

- ・新商品の開発までには至っていないが、マンナにてベテルコーヒーの販売を開始。また、お歳暮かたベテルコーヒーとマンナクッキーの菓子折セットの販売を開始。社会就労センターへも販売促進を依頼し、外部からの受注も増えた。

②生活介護事業

ア 活動内容を充実させる。

- ・日課は、午前は運動、午後は創作・レクリエーションを継続した。利用者の状況の変化に対応し運動のグループ分けを変更した。外部講師による月1回のリトミックも皆が慣れてきて音楽にあわせた身体の動きもスムーズになった。毎月、外出や全体でのレクリエーションの企画も継続した。外部による演奏会等はコロナウィルス感染予防の為、実施せず。ビニールハウスにて花の苗や野菜の苗を育成した。他事業所の短期入所を利用する方については、相談支援事業所ぶどうの木と連携を取りあった。

イ サービス内容を見直す。

- ・幅広いニーズに対応するという事で、女性の入浴対応を1名追加し週2~3回実施した。男性の入浴の検討もしているが、今のところ需要がない。

(4) 利用者支援

①就労継続支援事業B型

[生産活動支援]

パン事業では、週4日の営業や外部販売をしたことで収入は増えたが、課題であった収支のバランスを改善する事はできずマイナス計上となってしまった。しかし商品開発に取り組み、ピザの製造販売ができた。外部販売については、隔週であるが渋川特別支援学校で実施することができた。軽作業についてはコロナウィルス感染の影響で、取引している企業からの作業が無くなったが、9月より新規作業として昆布の袋詰め作業を取り組む事ができた。その他、公園清掃事業は一般企業との入札となり委託料は減額となったが落札することができ、継続して作業ができた。クリーニング事業については昨年同様であった。また興奮し作業が困難になってしまった利用者や作業を拒否する利用者に対し、落ち着いて作業ができるよう、毎日の声掛けを継続的に行なったり、席替え、衝立等で落ち着いて作業できる環境作りを行なった。

[生活支援]

ア 利用者対応

生活習慣の乱れや着衣の乱等ある利用者に対し改善が図れるよう、声かけ等の支援を行なった。

レクリエーションとして、日帰り旅行、会食会、夏・冬の外出等はコロナ感染症予防の関係で昨年同様全て中止し、施設内で楽しめる行事を充実させ実施した。

イ 通所支援

通所支援として、1日4便の送迎便を運行。利用者の状況に合わせルートや席順を変更しつつ送迎した。

ウ 保健衛生支援

保健衛生支援として、毎月の体重血圧測定、年2回の定期健康診断、インフルエンザの予防接種や胸部レントゲン撮影を実施した。冬季は感染症予防のため加湿器設置、毎日の検温及び手洗いうがいの徹底を図った。また、コロナウィルスの流行に伴い、検温のほか登園・外出時に手指消毒及び空間除菌器の使用は継続した。

エ 給食支援

給食支援として嗜好調査を行ない、可能な範囲で希望のメニューを取り入れた。また、選択メニューを月2回実施した。外部委託業者（グリーンヘルスケアサービス）と共に、毎月会議を行ない、検食での指摘事項について検討した。

オ 家庭との連携

家庭との連携として、連絡帳を毎朝確認し、特記がある場合は、朝礼で職員に周知すると共に、家庭へ電話での連絡を行ない情報の共有化を図った。

グループホーム・ケアホーム利用者については、サービス管理責任者や世話人と連携を密にとった。また、エステルだよりは毎月発刊した。

②生活介護事業

ア 利用者対応

日課は、午前は運動、午後は創作活動やレクリエーションを継続した。但し、利用者の状況にあわせて午後も運動するなどした。入浴は女性利用者3名を対応した。

イ 機能訓練・運動

個々の身体状況に合った運動メニューやグループホームでの入浴方法などを理学療法士と検討した。

ウ 創作的活動

生活介護の出入り口と玄関に作品を展示した。また、秋桜祭に合わせて作品を作成した。

エ 生産活動

花や野菜の苗を育成、販売した。

オ 生活相談及び援助

送迎時やサービス担当者会議等を通じ、家族との情報交換を密接にした。

利用者の状態を細かく観察し変化に対応した。

カ 行事・社会活動支援

毎月の外出を予定していたが、天候やインフルエンザの流行等で外出できない月もあった。

③年間行事報告

月	日	内 容
4	1	令交付式
	20	お花見（渋川市総合公園）
6	29	エステルレク
	30	利用者レントゲン撮影
7	2	採血
	14	春の健康診断（聴打診）
	30	レクリエーション（焼きまんじゅうの会）
9	18	夏季レクリエーション（施設内）
10	4	地域サービスウイーク
11	27	秋季レクリエーション
12	8	会食会（施設内）
1	28	魚の解体ショー
3		防災訓練

(5) 建物設備整備等実施状況

実施月	内 容
4	害虫駆除
5	消防設備点検
	消火器点検
	電気設備点検
7	電気設備点検
	害虫駆除

8	スプリンクラー点検
9	電気設備点検 浄化槽汚泥引き抜き
10	浄化槽 11 条検査 害虫駆除
11	消防設備点検 消火器点検 電気設備点検
1	電気設備点検 ガス給湯器点検
2	スプリンクラー点検
3	電気設備点検

(6) 日中一時支援

利用実績なし

3. シャローム [就労継続支援B型事業]

(1) 概要

利用者の安全を第一に考え、利用者の働く意欲と生産力の向上を目標に支援を行なった。

生産活動では、枝豆と白小豆が一部気候等の影響を受けたが、天候に左右されない生産活動として9月から昆布の異物除去作業を開始し、売り上げ的にはほぼ前年並みとなった。

(2) 年間退所・入所状況

入所日	性別	支援機関	退所日	性別	支援機関
9月1日	男性	渋川市	4月28日	女性	みなかみ町

(3) 重点目標に対する取り組み

①月額平均工賃 25,000 円を目指す

- ・台風等天候の影響を受けることもなく、りんごはほぼ順調、「名月」は袋掛け等が上手くいき綺麗にできたが、「陽光」と「ふじ」は若干表面に錆が出てしまった。野菜は春先に気候の影響を受けたものその後は順調に栽培できた。
- ・コロナ禍、令和2年度の収入減を踏まえて、平均工賃算定を23,000円に下げて設定。作付面積を増やし売り上げ増を計画、全体の生産活動収入は前年比102.7%の約8,429,763円となったが、資材の高騰が大きく影響したこと、ユーラック直しや除草等に時間を要したことから大きな増産は図れず、当期損益は1,433,708円の赤字。月額平均工賃は22,216円にとどまり目標を達成できなかった。
- ・生産活動売上と平均工賃

生産活動内容	令和3年度実績	令和2年度実績	前年比
りんご	5,410,346	5,233,184	177,162
野菜	2,240,347	2,356,762	-116,415
加工品	527,070	360,750	166,320
清掃委託	252,000	252,000	0
合計	8,429,763	8,202,696	227,067
平均工賃(月額)	22,216	25,712	-3,506

(単位：円)

②借用している畑の今後の使用計画について検討する。

- ・りんご園1か所が市の区画整理対象地域となり、リンゴの木の伐採と周囲の支柱を撤去して年度末に地主に返却した。

- ・畑については、連作障害を避けるためにも継続して借用し、例年の作物+αの生産を検討することとした。

③就労系3施設が協力・連携し、新商品の開発をすすめ販売を実施していく。

- ・3施設の特徴を生かした商品展開について検討し、新商品を開発。シャロームにおいては、エステルのピザにシャロームが生産した野菜を使用してもらおうと試みたが、受注のタイミングと受注量に相違があり断念することとした。

(4) 利用者支援

① 生産活動支援

- ・朝礼、終礼また各作業現場等で注意を呼びかけ、大きな事故や怪我等を防止することができた。またヒヤリハットや苦情等を職員会議等で検証し、再発防止を図った。
- ・利用者個々の能力・適正を見極め、作業内容・作業配置を固定化することで、作業の効率化を図り、生産性を高めることができた。

②就労への移行に向けた支援・就労の機会の提供

- ・新型コロナウイルス感染拡大のため地域のイベント等が軒並み中止、市役所でのイベントのみ開催されたが、販売に立ち会う機会は設けることができなかった。

③生活支援・相談及び援助

- ・社会人として相応しい生活習慣や態度を身につけてもらうため、本人だけでなく家庭やグループホームにも協力を依頼したが、目に見える成果はなかった。衛生面では、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、手洗いの励行、マスク着用については、意識の向上が見られた。

④食事

- ・嗜好調査や希望献立を可能な限り取り入れて、バラエティーに富んだ給食を提供した。
- ・季節ごとに新たなメニューを考案し取り入れることができ、利用者の楽しみとなっている。
- ・年齢、体格、労働量などを考慮し献立表を作成した。高齢の方の食事は、小さく切って提供したり、肥満対策としてご家族と協力してご飯の量を減らすなどの対応を取った。食事指導については、個別に面談を行ない、一部の利用者に改善が見られた。
- ・食事の準備及び片付け、食事のマナーについては、その都度声掛け等の支援を行ない、やや改善が見られた。

⑤健康管理

- ・毎月の体重測定、年2回の血圧測定、尿検査を行なうとともに、嘱託医による定期健

康診断を実施し、疾病の予防、早期発見に努め、家庭やグループホームと連携して支援を行なった。

また、嘱託医協力の下、7月、8月、3月に新型コロナウイルスワクチン接種を行なった。

⑥行事・社会活動支援

- ・市役所でのイベント販売に参加。その他の学校や地域でのイベントは新型コロナウイルスの影響のため中止であった。

⑦建物設備計画

- ・市の区画整理対象地域となったりんご園1か所の土地を返却。
- ・マイクロバスが故障、修理が高額になる見積もりであったため中古車を新規購入した。

⑧年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4	7	お花見	12	24	クリスマス祝会
8	4	納涼祭（オンライン開催）	1	4	新年会

4. マイーム〔共同生活援助事業・共同生活介護事業〕

(1) 概要

法人全体で土砂災害避難訓練を実施し、各ホームから避難先まで利用者の避難誘導を行なった。また、8月に土砂災害警戒レベル3が発令されたため、実際に避難をした。これらを通して挙げた課題について対応を進めた。

(2) 年間退所・入所状況

- ・入退所なし

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者の個別情報を更新する

- ・過去の入院や通院記録、服薬情報の整理を行ない、台帳の基本情報等の作成を行なった。しかし、利用者毎に分けた台帳のファイル作成まではできなかったため次年度に完成させる。
- ・各ホームの打合せ会議にてアセスメントの確認を行なった。しかし、他の課題の対応や会議が中止になり全利用者の確認まではできなかった。引き続き次年度に確認を行なう。

(4) 利用者支援

①生活支援

- ・居室の掃除や衣類等の洗濯が不自由な利用者に対して、定期的に部屋の掃除や整理整頓、寝具や衣類の洗濯などを行なった。
- ・精神的に不安定になった利用者に対して、居室変更や興味関心のある物を提供するなどの対応を行なったが、改善に至らなかった。

②健康管理

- ・新型コロナワクチン接種を各事業所と連携しながら全利用者3回接種した。
- ・定期通院や体調不良を訴える利用者に対して、早め通院を行なった。その結果、入院する利用者が出たが早期に退院することができた。

(5) 特記事項

①バルナバホーム

- ・引っ越し先の建物が見つかったが、引っ越しまで至らなかった。

②さくらホーム

- ・洗面所の水栓の修理を行なった。

③ダビデホーム

- ・玄関戸、居室戸の不具合があり調整を行なった。
- ・災害時避難先であるカナンに簡易ベッド5台を購入した。

④クロスホーム

- ・エコキュートを修理した。
- ・玄関戸、居室戸、床のメンテナンスが実施できなかった。

(6) 年間行事報告

月	日	内 容
5	20	消防設備点検 (バルナバホーム、さくらホーム、ダビデホーム、クロスホーム)
6	3	土砂災害全体訓練
7	7	コロナワクチン1回目接種 (1名)
	12	コロナワクチン1回目接種 (1名)
	18	コロナワクチン1回目接種 (3名)
	28	コロナワクチン1回目接種 (12名)
		コロナワクチン2回目接種 (1名)
8	3	コロナワクチン2回目接種 (1名)
	6	コロナワクチン1回目接種 (5名)
	8	コロナワクチン2回目接種 (3名)
	18	コロナワクチン2回目接種 (12名)
	25	スプリンクラー点検 (ダビデホーム・クロスホーム)
	27	コロナワクチン2回目接種 (5名)
11	15	消防設備点検 (バルナバホーム、さくらホーム、ダビデホーム、クロスホーム)
2	16	スプリンクラー点検 (ダビデホーム・クロスホーム)
	24	コロナワクチン3回目接種 (1名)
3	3	コロナワクチン3回目接種 (5名)
	10	コロナワクチン3回目接種 (13名)
	29	コロナワクチン3回目接種 (3名)

※11～12月に外出支援を少人数で数回に分けて実施。

第5章 相談支援事業

1. ぶどうの木

(1) 概要

在宅利用者のサービス利用について、引き続き新型コロナウイルスの影響が見られた。短期入所では受け入れが困難な事業所が多く、緊急時のみの利用が多かった。ご家族自身が感染を心配され、利用を控えるケースがあった。法人外の在宅利用者で、3名が新型コロナウイルスに感染したが自宅療養され無事回復された。感染状況に応じて、サービス担当者会議や利用状況の確認等、直接面会せず電話にて対応した。

一般相談について、入所施設の利用者で、見学や体験利用を重ねグループホームへ地域移行する方が1名いた。単身の在宅利用者では地域定着支援の利用を開始された方が1名いた。

以前より地域課題となっていた児童の計画相談に対応するため、児童のサービス内容の確認や計画作成等の勉強会等に参加し準備を進め、2月から1件対応を開始した。

ICT化について、昨年度購入したモバイルPCの利用を進めた。Wi-Fi環境の整備、その他必要な機器の購入や調整を行ない、訪問時にその場で計画作成や記録ができるようになり、相談業務の効率化を図ることができた。

(2) 契約状況

全契約者数	新規契約者数	契約終了者数	サービス等利用計画作成数	モニタリング作成数
243名	5名	12名	171件	401件

(3) 重点目標に対する取り組み

①指定一般相談支援事業

自立生活援助等のサービス事業所との連携を強化し、必要時に必要なサービスを受けられ地域生活が継続できるようにする。

- ・単身で生活をされている法人外利用者2名に対して、訪問時にサービス内容や必要性について説明し地域生活の安定するよう支援した。サービスを使わず自宅に引きこもり状態であった1名について、生活介護と地域定着支援の利用を開始し地域生活が安定した。
- ・就労希望がある在宅利用者について、ご本人の希望に添って見学や体験利用を重ね、就労継続支援B型の利用を開始することができた。

②指定特定相談支援事業

モバイルPC等を活用しタイムリーに計画作成を進め、記録時間の短縮化を図る。

AI等の情報を収集し、相談支援に活用できるか検討する。

- ・昨年度購入したモバイルPCについて、訪問時でもリモートでNDソフトが使用できるよう設定した。テザリングができるようWi-Fi環境の整備やモバイルプリンター等の周辺機器を購入し、訪問時にその場で計画作成、記録、署名ができるようになり、計画作成時間、記録時間の短縮に繋がった。
- ・モバイルPCのWi-Fi使用、児童の計画相談に対応するため、携帯電話をすべてスマートフォンへ機種変更し、2台から3台へ台数を増やした。
- ・AI等の導入については、インターネット等を中心に情報収集したが、相談業務に活用できるものは見つからなかった。

(4) 業務計画に対する取り組み

- ・短期入所、移動支援、共同生活援助、通院介助、居宅介護（家事援助、身体介護）、日中一時支援等の希望があり、事業所の情報提供を行なった。
- ・在宅生活が継続できるようサービスの調整等を行なった。将来の生活を考え、必要なサービスの説明や緊急時にも利用できるよう短期入所等の体験利用を進めた。
- ・毎月の職員会議や週1回の定例の打ち合わせで、進捗状況や困難事例の検討を行なった。
- ・地域資源の確認や困難事例の相談等について、なんでも相談室、渋川広域の他の相談支援事業所、渋川市地域包括ケア課に確認した。
- ・相談支援部会、発達障害者支援セミナー、障害児のアセスメント家族支援研修、成年後見制度講習会等へ参加し、制度やサービスについての理解を深め、計画に反映させた。
- ・成年後見制度について、希望されたご家族等へ情報提供した。

第6章 高齢者施設

1. カナン〔特別養護老人ホーム・短期入所生活介護〕

(1) 概要

40床から90床に増床となり、1か月3～7名の利用者の増員があり、年間で41名の方が入所となった。退所となった方も12名と多く、そのうち2名は自宅での看取りを行なった。4名の利用者が胃瘻を増設、癌や膵炎など大きな病気の発覚等、高齢化や重度化による状態変化への対応を行なった。

面会については、オンライン面会とガラス越し面会を中心に行ない定着した。感染症の流行が落ち着いている期間は直接面会も実施した。

(2) 年間退所・入所状況

<退所>

退所日	性別	保険者	退所日	性別	保険者
6月15日	女性	渋川市	10月6日	女性	渋川市
6月25日	女性	渋川市	10月18日	男性	渋川市
7月19日	男性	前橋市	12月1日	男性	渋川市
7月31日	男性	渋川市	1月27日	男性	高崎市
9月29日	女性	渋川市	2月28日	女性	渋川市
9月30日	男性	渋川市	3月9日	男性	東吾妻

<入所>

入所日	性別	保険者	入所日	性別	保険者
4月20日	女性	渋川市	8月19日	女性	渋川市
4月22日	女性	渋川市	8月24日	男性	高崎市
4月26日	女性	渋川市	9月7日	男性	渋川市
5月6日	女性	渋川市	9月8日	女性	渋川市
5月10日	女性	渋川市	9月13日	男性	渋川市
5月14日	男性	渋川市	9月13日	女性	渋川市
5月18日	男性	吉岡町	9月22日	女性	渋川市
5月27日	女性	渋川市	10月27日	男性	東吾妻町
5月27日	女性	渋川市	10月28日	女性	吉岡町
5月28日	女性	渋川市	11月2日	女性	渋川市
6月7日	女性	吉岡町	11月4日	女性	渋川市
6月7日	女性	渋川市	11月22日	女性	大田区

6月14日	女性	渋川市	11月25日	女性	吉岡町
6月21日	女性	昭和村	12月14日	女性	渋川市
6月22日	女性	渋川市	12月27日	女性	渋川市
7月1日	女性	渋川市	12月27日	男性	渋川市
7月12日	女性	渋川市	1月1日	男性	吉岡町
7月16日	女性	渋川市	1月27日	男性	渋川市
7月19日	男性	渋川市	3月3日	女性	渋川市
7月21日	男性	渋川市	3月17日	女性	渋川市
8月18日	女性	渋川市			

(3) 重点目標に対する取り組み

①利用者支援の向上を進める。

- ・職員の業務役割を分担し、自分の役割を確実に遂行し安全な支援を行なえるようにした。
- ・マニュアルの更新を行なった（食事、排泄、感染症防止等）
- ・利用者数に応じて、入浴方法や夜勤体制、利用者の生活の場所などを変更した。

②利用者、ご家族が安心できる安定した支援

- ・オンライン面会、ガラス越し面会が定着。感染症流行状況によっては直接面会を行なった。
- ・看取り対応となった利用者のご家族より、自宅に帰りたいとの要望があり、アドバイスやフォローを行なった。2名の利用者が自宅で看取られた。
- ・4名の看取りを行なった。

③利用者の生活空間の拡大と地域貢献

- ・利用者数が増えたことで既存部と増床部の境になっていた壁を段階的に撤去し、生活空間を広げた。
- ・食堂に加えラウンジを使用し、食事をする場所を2か所に分けた。

(4) 利用者支援

①介護

ア 生活支援

- ・ケアプランに則した記録を意図的に残す取り組みを継続中。
- ・利用者、家族、他職種で話し合いながら、個々に則した支援を実施した。
- ・インカム、タブレットを活用し、職員の連携の強化が図れ、業務を円滑に行なえた。

イ 虐待・身体拘束

- ・委員会は月 1 回開催した。
- ・5 月に虐待防止、8 月と 12 月に身体拘束廃止の現任研修を実施した。
- ・身体拘束は 1 件であった。

ウ 事故防止

- ・委員会を月 1 回開催した。
- ・1 月に現任研修を実施した。

エ 看取り

- ・3 月に現任研修を実施した。
- ・施設内で 4 件の看取りを行なった。

オ 余暇活動（創作・文化活動含む）

- ・夏祭り、敬老会（カラオケ）、クリスマス、望年会（餅つき）、新年会（うどん作り）などを行なった。
- ・高齢者施設合同の夏祭り、運動会はコロナ禍のため、それぞれの施設で実施した。

カ 生活環境

- ・5 月に増床部のラウンジを開放し、日中の生活の場として使用を開始した。安全に留意しながら、生活空間を拡大した。
- ・新しい利用者を迎えるため、食堂、ラウンジの使い方を見直した。

キ 防災

実施日	内 容
9 月 29 日	日中火災想定訓練（合同）※延期
11 月 10 日	日中火災想定訓練（合同）
3 月 23 日	夜間火災想定訓練（合同）※中止

②食事

ア 季節食

- ・昼食選択メニューを月に 1 回取り入れ、利用者の好みを聞きつつ食事提供。また、月に 2 回程度日曜日のおやつを選択メニューとし、利用者自身で好きなものを選んでもらえるようにした。
- ・嗜好調査、入所時と 6 月に全員対象で実施。また利用者状況も日々変わるので、何か問題があればその都度利用者や職員より声掛けがあり改善につとめた。
- ・以前からの継続で全国各地の郷土料理を取り入れた。馴染みやすいものを中心に、

主菜や副菜について各都道府県の献立を少しずつ盛り込んだ。季節に合わせた食材を使用して対応。また、ご当地グルメやB級グルメも取り入れた。

イ 食形態

- ・栄養ケア計画中心に、入所されている全員の方への栄養ケアマネジメントを実施。日々の変化や利用者状況を見て、その時々合った食事形態を担当職員、他職種と相談しつつ行なった。

ウ 食環境

- ・音楽の好みの違い、食事時のテレビの視聴について等を考慮しながら環境を検討した。
- ・食席については安全面と機能面を留意した。入院や転倒等で利用者状況の変化が多くみられて、その都度担当職員中心に検討を行なった。

エ その他

- ・金額面では年々原材料費が高騰しているため、予算範囲内で提供可能なもの、利用者に提供したいものと折り合いを考えた。手作りのものを中心に既製品も取り入れた。
- ・外出機会がなくなり、行事も大幅に削減されたため、施設内でも楽しめるようにおやつレクを実施。焼きまんじゅうやおやきを提供。
- ・感染症対策を重点的に行なった。委託業者との連携をとり協力して対応をした。
- ・食事をからめた行事を数回実施したが、感染症対策のために利用者と職員とが一緒に食事をする機会は作らなかった。食事場所を分けて提供した。
- ・ご家族等との直接の面会が出来なくなり楽しみが減ってしまう中で、リクエスト献立や新聞の折り込みチラシに掲載されている食事を取り入れて、献立がマンネリ化しないように工夫した。
- ・日々の状態変化を見逃さないよう、状態観察とともに記録の確認を行ない、変化には早めに対応を行なった。
- ・増床のため利用者数が増え、食事場所が2か所となった。食事時間だけでは状態確認ができないため、食事以外の日々の変化にも目を向け、食事への対応に繋げた。

【常食】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
エネルギー(kcal)	1,573	1,574	1,582	1,563	1,565	1,569
たんぱく質(g)	59.5	59.3	58.2	59.6	59.3	59.5
脂質(g)	35.6	34.2	35.7	35.3	35.2	35.5
塩分(g)	9.0	8.7	8.7	8.7	8.7	8.6
	10月	11月	12月	1月	2月	3月

エネルギー(kcal)	1,582	1,583	1,593	1,591	1,591	1,572
たんぱく質(g)	59.8	59.6	58.9	60.3	61.0	59.8
脂質(g)	35.3	35.7	35.9	36.2	35.1	34.6
塩分(g)	8.8	8.7	9.0	8.8	8.6	8.8

③医療・リハビリ

・各月状況

5月	春の健康診断（胸部レントゲン・採血）
6月	春の健康診断（聴打診）コロナワクチン1回目
7月	コロナワクチン2回目
11月	インフルエンザ予防接種
2月	コロナワクチン3回目（～3月）

・通院状況（延べ人数）

内科	外科	歯科	耳鼻科	皮膚科	精神科	泌尿器科	呼吸器科	脳外科	整形外科	循環器科	婦人科	合計
61	29	2	1	25	31	158	1	6	39	5	2	360

（令和3年度254名）

・施設内治療状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
984	1148	1108	1254	1505	1139	1169	1007	1489	1429	965	1371	14568

（令和3年度9,046名）

・医師診察状況（延べ人数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
91	168	141	91	82	138	98	117	138	142	108	139	1453

（令和3年度985名）

・入院状況

氏名	病名	期間	病院名
Y. K	心不全・肺炎	3/19～4/8	北毛病院
N. G	小脳出血	4/2～7/19	老年病研究所附属病院
S. H	肺炎	4/6～4/14	北毛病院
Y. K	アダムス・ストークス症候群	4/26～6/9	北毛病院
K. S	脳梗塞疑い	4/29～6/15	北毛病院

I. T	誤嚥性肺炎	4/16～4/26	北毛病院
I. T	誤嚥性肺炎	5/7～5/28	北毛病院
T. T	発熱	5/7～5/10	北毛病院
I. M	心不全・心筋梗塞疑い 尿路感染・腎盂腎炎	5/9～5/28	渋川医療センター
H. Y	低蛋白血症	5/11～5/20	有馬クリニック
B. M	胃瘻造設・脱水	5/21～6/21	北毛病院
H. Y	尿量減少・食欲減少	5/22～6/2	有馬クリニック
H. Y	低酸素	6/2～6/7	有馬クリニック
I. T	腸閉塞・大腸C a	7/9～7/28	北毛病院
H. N	盲腸疑い	7/19～8/10	渋川医療センター
T. T	肺炎・心不全	7/19～9/15	渋川中央病院
H. N	膵炎疑い・腹部大動脈 瘤	8/10～8/27	渋川医療センター
H. S	誤嚥性肺炎	8/14～9/3	北毛病院
I. M	胸水・腹水	8/23～9/1	渋川医療センター
T. T	胸痛	8/24～8/27	有馬クリニック
S. K	発熱	8/26～8/31	有馬クリニック
K. K	食欲不振	9/13～9/22	有馬クリニック
S. M	大腸炎	9/19～9/28	北毛病院
H. Y	腎盂腎炎	9/19～9/29	群大病院
T. T	発熱	10/8～10/12	有馬クリニック
K. G	右大転子部骨折	10/29～11/16	関口病院
M. S	脳内出血	11/4～12/27	北毛病院
K. M	誤嚥性肺炎疑い	11/10～12/21	北毛病院
H. Y	胃瘻造設	11/15～12/27	北毛病院
Y. H	右大転子部骨折	11/19～12/10	関口病院
U. T	心不全	11/20～12/3	北毛病院
K. S	肺炎	11/21～12/1	北毛病院
K. A	貧血	12/6～12/13	有馬クリニック
I. M	誤嚥性肺炎	12/23～1/17	渋川医療センター
I. Y	肺炎・心不全	R4/1/19～2/28	北毛病院
T. S	胸水・腹水	R4/1/26～1/27	北毛病院
T. T	胃瘻造設	R4/2/14～	北毛病院
A. H	左大腿骨頸部骨折	R4/3/8～3/23	関口病院

合計 39 件 (令和 3 年度 20 件)

・訪問歯科状況（延べ件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
9	20	25	19	23	34	28	31	19	23	19	33	283

（令和3年度 224名）

④建物設備状況

月	日	内 容
4	6	電気錠交換
	8	受水槽検査
	15	浄化槽 11 条検査
	16	増床部仮囲い移設
	27	増床部床補修
5	17	消防設備点検
	24	増床部仮囲い全面撤去
	28	厨房洗浄室水道接続部修理
6	2	山吹の非常口掲示板、設置場所変更
	16	エレベーター点検
	19	朝顔ラウンジ水道パッキン交換
8	6	厨房水道修理
	24	スプリンクラー点検
9	9	厨房グリストラップ清掃
	10	自動ドア点検
	15	エレベーター点検、キュービクルバッテリー交換
	17	貯水タンク錆の確認
	29	厨房ファンベルト交換
10	15	受水槽クリーニング
11	22	消防設備点検
	30	エレベーター点検
2	9	エレベーター点検
	16	スプリンクラー点検
3	14	自動ドア点検
	17	浄化槽清掃
	25	停電を伴う電気設備点検
	28	エレベーター点検

⑤年間行事報告

月	日	内 容
4	1	カナン5周年を祝う会
8	4	納涼祭
9	25	敬老会
12	16	望年会
1	13	新年会

(5) 短期入所事業

①重点目標に対する取り組み

- ・新型コロナウイルス感染の心配はあったが、体調確認や食席の配慮、担当ケアマネとの連携などの対応をすることで受け入れを継続。
- ・送迎時にご家族と多くの会話をすることで情報収集、情報提供を行なった。

②利用状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
延べ人数	37	44	43	44	41	41	40	39	44	32	29	36
日数	142	239	228	214	216	165	171	208	214	142	112	127

平均利用日数：181.5 日
(令和3年度 101.5 日)

2. さつき〔地域密着型サービス認知症対応型共同生活援助〕

(1) 概要

1日3回の健康状態の確認により早期発見・早期対応し、健康状態の維持・安定した利用率を目指したが、入居期間の長い方は、身体機能の重度化や健康面での配慮が必要になり、介護量および医療への依存が目に見えて増加した。入院の期間が長引き、状態が安定するまで退院することが難しい状況が続いたことから、より密に医療機関、家族と連絡を取り合い、退院後の生活に備えた。

また、1月から3月は、新型コロナウイルス感染の影響を大きく受けた。職員の罹患、濃厚接触のため出勤停止、利用者の感染等、生活パターンを変更せざるを得ない状況が長期続いた。他者との接触時間の減少は、認知症の進行に影響し、食事の仕方がわからなくなる、言葉が出にくくなる等の症状が見られた。また、身体の影響として、便秘症になる、下肢筋力の低下等が見られたため、再度、入居者のアセスメントを実施し、医療機関との連携をはかり、生活の見直しを行なった。

(2) 年間退所・入所状況

- ・該当者なし

(3) 重点目標に対する取り組み

①要介護者の増加やニーズにより多様化しているため利用者の健康管理に心がける。

- ・1日3回のバイタル測定、排泄量・状態の観察等をし、体調不良の前兆を逃さず通院等早期対応に繋げた。
- ・嚥下機能低下に対する調理方法の工夫や低栄養リスクのある利用者に対する対応について、管理栄養士による栄養指導実施した。
- ・口腔・嚥下状態、食事・水分摂取量、体重増減、血液検査による栄養状態等の把握をし、低栄養のリスクに対するスクリーニングを実施した。

②「予備力アップ」で認知症状の緩和

- ・日々の生活の中で、本人の能力に合わせて行なえる家事作業（洗濯物畳み、食器拭き、テーブル拭き等）を日課として実施した。
- ・高齢者でも認知症でもチャレンジできる環境を整え、レクリエーション（ダンス、習字、創作活動等）や園芸作業（芋ほり、野菜の採取、水やり等）を行なった。

(4) 利用者支援

①活動

ア 生活支援

- ・食器拭きや洗濯物畳み等、共同生活の中で自分の役割を実感できるよう支援した。

イ 創作・文化活動

- ・塗り絵やスクラッチアート、折り紙、書道等を実施した。できあがった作品は館内のギャラリーに掲示した。

ウ 地域活動

- ・運営推進会議を3回（6、9、11月）実施した。5、2、3月も会議を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面にて報告した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、面会を自粛。11月にウェブ面会の案内をご家族に送付したが、希望者はいなかった。普段の様子を「さつき通信」として、2カ月に1回程度送付し状況報告した。

②食事

- ・各利用者の健康状態や身体状態を踏まえた上で、医療との連携を図った。疾病により制限食が必要な利用者に対する調理方法や体重減少等低栄養のリスクのある利用者に対する調理方法等医師及び管理栄養士から指導を受け、個々に合わせた食事を提供した。
- ・栄養状態や嚥下機能に合わせ、主食の量や形態の調整を行なった。また、毎回の食事
- ・水分摂取量の記録をし、1日の摂取量の把握をした。摂取状態に問題がある場合はその都度、訪問看護へ状況を報告し指示を仰いだ。

③医療

- ・群馬県高齢者入居者職員の発熱状況を群馬県へ毎日報告した。
- ・一日3回のバイタル測定や月初めの体重測定など健康状態の把握に努めた。
- ・医師と連携し利用者の栄養について血液検査（年に2回）を実施していただき、利用者の栄養値（アルブミン値）を確認。栄養状態をスクリーニングした。
- ・コロナウイルス感染について。施設内で陽性者が判明（職員3名、利用者1名）渋川市保健福祉事務所を主に、北毛診療所、虹訪問看護ステーションに密に連絡し指示を仰ぎ、健康観察や感染拡大防止等対策を行なった。感染は、最小限に抑えることができ、エリア分離等の対策は14日程度で終了した。

④住環境・建物整備

- ・利用者用トイレタンク2か所交換。
- ・浄化槽の漏電によりポンプ2台が作動せず。交換工事実施。

⑤年間行事報告

月	日	内 容	月	日	内 容
4		花見ドライブ	10	14	外部評価
6	9	コロナワクチン接種 1 回目		27	高齢者施設合同秋の運動会
	23	日中想定避難訓練		29	〃 (ゆうかりと一部合同)
	30	コロナワクチン接種 2 回目	11	10	インフルエンザ予防接種
	〃	胸部レントゲン	12	22	クリスマス会食会
7	30	焼きまんじゅうの会 (会食会)		24	クリスマス集会
8	4	納涼祭 (オンライン)	1	1	新年会
9	22	敬老のお祝い会 (会食会)	2	24	地震想定避難訓練
10	11	秋を味わう会 (会食会)			

3. ゆうかり〔通所介護・予防介護〕

(1) 概要

長く利用していただいた方の施設入所や入院が続き、令和3年4月には58%だった利用率が、令和4年4月には38%にまで落ち込んでいる。新規利用もあったが、施設入所へ移行してしまうなど、利用の続かないケースが多くみられた。利用者獲得に向けたスケジュールを作成し、居宅支援事業所やなんでも相談室に挨拶回りを行なった。また利用者支援の充実化のため、再アセスメントや新たな日課・行事の検討、職員に対する研修を可能な限り予定に組み込み、実施した。

(2) 重点目標

①利用率の向上

- ・担当者会議や電話連絡の機会を利用し、居宅支援事業所のケアマネージャーにゆうかりの宣伝を行なった。また利用率獲得のための行動スケジュールを作成。過去に関わりのあった居宅支援事業所や、なんでも相談室を訪問し、ゆうかりのアピールを行なった。

②日課を検討する

- ・利用率がなかなか伸びない中ではあったが、利用している方に楽しい時間を過ごしていただけるよう、職員会議等で余暇時間の過ごし方や行事を検討・実施した。また利用者情報を現状に見合うように再アセスメントを行なった。

(3) 利用者支援

①介護

- ・担当ケアマネージャーのケアプランに基づき通所介護計画書を作成した。全職員が通所介護計画書の内容を理解し、支援の方向性を統一できるように努めた。また介護方法の変更などについては、その都度、ご家族やケアマネージャーに確認をして進めた。

②食事

- ・利用者や家族、ケアマネージャーに聞き取りをして管理栄養士と連携し、個々の嗜好にできるだけ合わせられるようにした。また、季節食や行事食も提供して利用者にも季節感や食べる楽しみを味わっていただいた。

③医務・リハビリ

- ・新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、職員の入勤前の検温や体調チェック、手洗い、うがいを行なった。

- ・利用者や家族に対し、送迎前の検温をお願いした。また通所時にバイタルを確認し、利用者の健康管理に努めた。発熱などの不調が見られた場合には、家族に連絡をするなどの対応をとった。
- ・月1回の理学療法士が来園時に機能訓練のアドバイスをいただく。それらを参考にし、日常のレクリエーションの中にも集団体操などを取り入れて利用者の機能維持に努めた。

(4) 年間行事報告

開催月日	内 容
4月1日～3日	お花見ドライブ
5月10日～14日	新緑ドライブ
8月2日～7日	夏祭り
11月5日～9日	紅葉ドライブ
10月29日	ゆうかり運動会
12月24日	クリスマス集会（オンライン）
12月30日	忘年会

(5) 年間利用状況

月	開所日	登録人数	実利用人員数	延利用人員数	稼働率
4	26	30	28	304	58%
5	26	29	26	304	58%
6	26	28	23	297	58%
7	27	28	24	303	56%
8	26	28	24	288	55%
9	26	28	24	244	47%
10	26	28	24	244	46%
11	26	28	24	269	52%
12	26	27	24	261	50%
1	24	29	26	247	51%
2	24	29	26	225	47%
3	27	26	25	238	38%
合計	310	338	298	3224	
平均		32	25	268	51%

※令和3年12月31日（水）～令和3年1月3日（日）年末年始休業日。

開館時間9:30～16:30（7～8時間）

1日の平均利用人数 9.3人（1日の利用定員 通常規模20名）

第7章 公益事業

1. ポパイ〔福祉用具貸与・販売事業〕

(1) 概要

貸与事業は、サービス付き高齢者住宅等の施設からの依頼が多くあり、利用者数は3月時点で62名（昨年度末から13名増える）となったが、目標契約者数を達成できなかった。しかし、貸与・販売ともに売り上げは伸び、年間目標800万円を達成した。

(2) 重点目標に対する取り組み

①（介護予防）福祉用具貸与事業

ア 年間売り上げ目標800万円を達成できるようにする。

- ・取引のあるサービス付き高齢者住宅から、ケアマネージャーを紹介していただくことで、新規獲得することができた。徐々に利用者数は増えてきたが目標人数に達することはできなかった。しかし、貸与商品の追加や変更などあり、目標売上高800万円を達成することができた。

イ 契約獲得者数70件にする。

- ・3月時点で契約者数62件となった。

②（特定）福祉用具販売事業

ア 年間売上目標800万円を達成できるようにする。

- ・フランスベッドと取引ができるようになり、商品のラインナップが増えたことで販売が多く売り上げが上がった。
- ・特定福祉用具の販売についても、法改正やコロナの影響からか在宅での入浴が増えたことで販売が多かった。

(3) 年間売上実績

売上高	貸与事業	販売事業	売上総利益	貸与事業	販売事業
令和3年度	8,093	8,974	令和3年度	3,515	1,829
令和2年度	7,912	7,815	令和2年度	3,856	1,200
差額	181	1,159	差額	▲341	629

単位／千円

2. シオンの丘〔居宅介護支援事業〕

(1) 概要

開所 4 年目に入り、複数職員体制を視野に入れながら事業展開を図った。今年度もコロナ禍により様々な制約の中での業務遂行であったが、新しいサービス事業所との関係構築や、地域包括支援センターと連携して困難事例に取り組むことができた。障害者福祉制度に精通している事業所の認知を一段と高めることができた。

(2) 重点目標に対する取り組み

①事業所運営の安定を図る

- ・9 月の実施指導で、多数の過誤の指摘を受けてしまった。今回の反省を踏まえて今後の 2 名体制の事業所運営に生かしていきたい。

②複雑、困難なケアマネジメントに対応する

- ・地域包括支援センターと連携して困難事例に取り組むことができた。

③将来を見据えた新しいサービスを検討する

- ・緊急ショートステイや買い物支援など、インフォーマルなサービス実現のため情報収集を行なっている。

(3) 担当利用者数推移

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
要介護	40	38	41	41	40	39	38	38	35	36	33	35
要支援	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6

※累計契約利用者数 124 件 (令和 4 年 3 月末現在)

第 8 章 収益事業

1. オリーブ

(1) 概要

売り上げは目標額よりも約 281 万円少なく達成率は 91%であった。そのため法人への繰り入れ額は目標よりも 70 万円少ない 180 万円となった。

(2) 重点目標に対する取り組み

①収入 3,500 万円、収支差額 250 万円を達成する

- ・売上増につながる新しい事業・サービスについて、他法人の取り組みを調べることに留まり、具体的な取り組みにはいたらなかった。
- ・売り上げの目標額に対する達成率は約 91%であり、法人への繰り入れは 180 万円と達成率は 72%であった。

(3) 年間売上実績（前年度比）

単位：千円

	売上高	法人への繰り入れ
令和 3 年度	32,189	1,800
令和 2 年度	32,622	1,000
差 額	-433	800